

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-62)、  
廃棄物管理施設(37)、MOX燃料加工施設(2-28))」

2. 日時：令和5年6月7日(水) 13時30分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任  
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審  
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専  
門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー 他1名

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年5月31  
日の提出資料に基づき、申請対象設備の分類及び構造設計等に係る記載事  
項の整理について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・構造設計等を説明する上での設備分類については、各設備に対する主条文  
と関連条文の相互関係を踏まえて、説明の優先順位や、先行して説明する  
分類における説明範囲等を整理し、分類の考え方を整理する。また、設計  
変更のない事項についても、変更が不要であることが説明できるよう整理  
する。
- ・耐震については、説明する範囲を、耐震計算書を添付するものに限定せず、  
申請対象設備を網羅的に説明するものとする。また、構造設計等を説明す  
る上で要点となる設計方針と説明項目の関係を整理し、段階的に説明する。
- ・重大事故等対処設備については、現時点で分類等が十分に整理できていな  
いため、まずは検討状況を説明する。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年5月31日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	抜こう開始しました。
00:00:02	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
00:00:15	及び、
00:00:16	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、
00:00:23	5月の31日に提出があった資料をもとに、ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
00:00:32	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室から田尻、藤原、小野、山口、
00:00:41	あとその他WEBから、
00:00:43	古作大岡、武田、岸野、横山、上出、濱崎、
00:00:52	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割の説明とあと本日の議題の構成について、
00:01:03	説明をお願いします。
00:01:09	弁論例年事務です。
00:01:17	はい。日本原燃の赤間でございます。
00:01:20	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:24	Steering チームよりございます。L ステアリング準備、奥石原、関西電力様の野本様。
00:01:35	石黒紗奈。
00:01:36	あと、沓名事務局及び再処理の事務局へ参加させていただいてございます。
00:01:42	本日もご確認いただきます資料でございますけども先ほど紹介ありました5勝30人、1日に提出させていただきました共通12、
00:01:52	こちらの方のご確認をいただきたいと思います。
00:01:55	それでは説明の回収させていただきます。
00:02:01	はい。日本原燃石原でございます。今ほどありました5月31日付共通病院にレビジョン8ということでさせていただきました。先週の金曜日の今後の進め方でもお話をさせていただいた通り今回は第1弾のステップ1ということで、共通に今後の再処理も含めて、

00:02:21	踏まえた上でどういうふうに、資料としての構成であったり、どこにどうということを書いて、構造設計等々に結びつけて具体的話を展開していくかと。
00:02:31	いうこと、または構造設計等ということで各食う者のレベルであったり、にとりあえず面の紐づけであったりということの、
00:02:42	て程度感というのはおかしな話ですけど共通2としての説明の枠組みと いうのをどう考えているかというところをお示しして、ご議論させていただければと思ってました。
00:02:54	加えましてまだちょっと結論が出てないですが、中に本部にも入ってます。前回の2日にもお話ししました設計説明分類の再処理の考え方について、今、いろいろ悩みながらも考えてますその状況もご説明をさせていただければと思います。
00:03:13	まず資料の全体の構成学会の流れの説明をさせていただきたいと思ます。
00:03:20	本文がまずありまして3ページに今回の資料でのやることということを書かさせていただいています。
00:03:30	(エ)の正しく累計を分類をしていきたいということ、あとはそれぞれに対してしっかりと説明を設計を説明をすると。
00:03:39	いうことの沿い、ここで言う設計というのは、それぞれA系統としての機能であったりということの説明をするシステム設計と、あと機器単体の機能を達成するための設計を説明する構造設計、
00:03:52	あとは複数の機器の相互間の影響を考えたときの距離、離隔であったりという配置であったりといったことを説明する配置設計と、大きく三つの、
00:04:02	分けて設計を説明をしていきたいということで考えてございます。
00:04:07	はい。その上でそれぞれの設備をどう分類していくかというのが、4ページ以降に書いてございます。
00:04:16	もう1点、右下6ページですかね、2.3ということで金委員からの変更点、これも共通12の中での設計を説明する上で必要なポイントだというふうに認識をしております。
00:04:31	この君からの変更点、当然MOXについては新規のものと、変更に関わるものがあります変更側のもので最初については、大きくはやはり変更申請ですので、変更でき認可からの変更点というのを、

00:04:44	説明の項目としてしっかりと認識した上で説明を展開する必要があるということで、右田7ページの中で行っている(1)(2)と大きく二つの分類額で、
00:04:55	整理をしていこうと思っております。
00:04:57	(1)は新野河本を変更したものであるということで補強した、改造したものを変えたといったものを、整理をしていくのが(1)番。
00:05:08	(2)番については、耐震や再編のように評価の条件を変えていったものだったり評価の方法の中のいろんなモデルの変更であったりといったものを、
00:05:18	(2)番の中で、設備ごとにしっかりと抽出をして網羅的にあらわしていこうということでございます。
00:05:26	ございます。
00:05:27	はい。
00:05:28	そういったことを、何を説明するか何を対象に説明するか、どういう変更点を押さえていかなきゃいけないかっていうことを、全体を考えた上で、
00:05:40	縦軸最終利益は2万5000円近くある設備を、一定の分類に仕切ってですね、金構造設計システム設計配置設計を説明していきたいということが、
00:05:52	右下7ページの下から8ページにかけて書いてあることでございます。
00:05:57	はい。
00:05:59	ちょっと設計分類の話は後程、一通りの構造の話が終わった必設備のじゃないか資料の構成の話が終わってからさせていただきます。
00:06:10	最初にの特徴というか、考えたいという点で右下11ページにある2.4に書いてありますが、
00:06:20	要求事項に動かない条文、今回全く変更がありませんよと言ってるものをどうやって明確にしていくかということ、これ
00:06:30	説明の仕方に軽重をつけたいという意味で、近いとこういうものを整理をしていきたいというのが最初の中でうちの考え方がありますということを書いてます。
00:06:39	入って、
00:06:41	実際の資料になりますが、先ほどの分離であったりということの資料の具体としては右下28ページから資料1というのがございます。

00:06:52	ここで、縦軸に設備を並べて、申請対象設備リストを添付してます世古。
00:06:59	添付してます。条文のマトリックスに、
00:07:02	情報をさらに加えたものになります。
00:07:05	ちょうどページの真ん中に 19 ページのページの真ん中のところに、キリンの変更の情報を入れさせていただきました。
00:07:16	松葉矢野、変化分という真ん中から遠い平井側に、左側に移る項目これがすべて新規になってますので、
00:07:26	結果から変更点漏えい見分けるかはその下に左にあります、変更し申請リッキー帰りのところなんで、
00:07:35	今 2 と書いてあるのが新規のチーム 2-1 と。
00:07:40	いいのか。
00:07:40	色 1 と書いてるのが変更申請のグループになりますので 2-1 のグループに入って、
00:07:46	設備が今回既認可からの変更点を、何らか必要に応じて書かなきゃいけない事務ということになります。
00:07:55	はい。なので今回 MOX、ここは MOX 特養になりますが、2-2 のグループは、斜線を引いて欄を埋めさせていただきました。2-1 のチームは、
00:08:06	何らかの変更がある場合は内容を変えて、該当しながらバーッと。
00:08:10	ということで整理をさせていただいてございます。
00:08:13	29 ページのは、資料の右半分、
00:08:18	これ以降から 2 ページが続きますが、
00:08:21	先ほどの分類額の中で、今てから B-1 から 4 というのがこの条文の欄でどこに該当するかというのを設備ごとにピックアップした表になる。
00:08:33	ということでございます。
00:08:35	資料についてはまず、こういったことを整理してかつ、一番左から、
00:08:41	4 番目ですかね、左から 4 番目にある、
00:08:46	設計の設備分類というのを、このマトリックスも踏まえながら、整理をして、
00:08:53	エース抽出をしてます。この設計説明分類というのが、
00:08:57	この後、資料 2 であったり資料 3 で展開をされる項目の単位ということになります。
00:09:04	はい。

00:09:06	その資料の痕跡という意味でいきますと、資料の2というのが右下53、資料見ます。
00:09:17	で、これは、めくっていただきますと54ページに条文の項目がずらずらと書いてございます。この資料2に来るのは、
00:09:28	今回でいくと、右下55ページにあるマトリックスですねこれで、
00:09:34	基本設計方針の項目ごとにどの設計説明分類に当てはまるかと、いうことを書いてます。
00:09:41	今回つけさせていただいてるのは、この55ページの表の上側の2横軸ですね、グローブボックスオープンポートボックスフードを含むと書いてあるこの、
00:09:53	やっぱ日本のときに関係する条文の、
00:09:56	増分ごとの基本設計方針等々を並べたのがこの後に、衛星50。
00:10:02	9ページ以降に整理をしてつけさせていただいてございます。
00:10:07	はい。
00:10:08	これ全体、54ページに書いてある条文がじゃあ何なのかということになりますとこれは第2回の申請対象の設備に関する条文すべてがこの縦軸
00:10:18	に並んでいる条文ということになります。
00:10:21	これが先ほどの55ページ以降の丸付けに従って関連するものから順次追加されていくということで、今は整理をさせていただいているということでございます。
00:10:33	続けまして、右下59ページから、第4条ということでこれ、パッケージの作り方は各条文統一でございます。
00:10:43	右下60ページへ行っていただきますと、項目番号基本設計方針要求種別、主な設備展開事項云々と書いてありますこれ
00:10:55	0資料の別紙2をもとに展開をさせていただいているものになります。
00:11:01	6の第2クールレイク第2回申請の添付書類における記載、ここまでが、別紙20資料の別紙2を使って展開できる範囲になります。
00:11:12	これ以降の右側、設計建設の分類設計説明分類。
00:11:16	設計分類、あとは設計部の考え方といったところが今回共通順位で新たに、左側を見ながら、先ほどの資料1を見ながら、展開をしている項目になります。
00:11:30	56ページの具体的な記載がありませんので61ページをご覧ください。



00:11:36	61 ページにちょうど、設計説明分類というのが、基本設計方針番号でいくと 4 条の 4 番。
00:11:44	ここ出てきますここで、先ほどのマトリックスとの関係もありますがグローブボックスオープンポートボックスだったりグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する機構も
00:11:55	システム設計であったり評価であったりというのが、この基本設計方針に向けて展開をしないといけない項目になりますと、
00:12:04	というようなことが、整理をさせていただいていると。
00:12:08	先ほどの全体の
00:12:11	設計説明論類、これが紐付けば必ずこの資料 2 で条文が出ることに、この資料 3 があるなしにかかわらず、段階的に資料出しますけどもこの中で、こういった提携説明分類にこの基本設計方針が関係するかというのは、
00:12:27	業務分担表か明確になるようにして利用させていただいているかということでございます。
00:12:33	例えば 71 ページ見ていただきますと、
00:12:37	同じ基本設計方針に対して、グローブボックスのチームグローブボックスと同等のとじ込み機能を有する設備、運搬専用機、記載装置、搬送設備みたいなものがこの基本設計
00:12:48	に関係しますよと。
00:12:50	ということで、続けて展開をされます。
00:12:54	はい。
00:12:57	ずっと続きまして、資料の、
00:13:02	どこがいいかな。
00:13:05	あと、若干資料の中で別紙 2 でもうすでに整理をしておりますので、他の増分と、経路が違うのが耐震でございますが、
00:13:15	方針の関係で資料に 77 ページ以降でございます。
00:13:19	78 ページ見ていただきますこれ設計説明分類等は別紙 2 で見解しますというのが先ほど言ったと全く同じでございます。
00:13:30	ただ単身の場合は、親店舗テープの構成があるので別紙 2 の段階で、この上にあります添付書類の説明、
00:13:39	項目はですね、添付書類構成 (1) 添付書類構成括弧 2 と、もが後ろに添付がつきますよということを意識して、展開をさせていただいてます。これをそのまま、

00:13:51	今回の資料にも踏襲をして、親店舗テープでリンクがあるものはアホ添付の内容まで考えて、資料に資料3に展開を準備していくということで整理をさせていただきました。
00:14:04	はい。
00:14:06	資料にはこういった形で同じような展開で、関係する条文になりして、整理をさせていただいてございます。
00:14:18	はい。今回の資料でいきますと資料3が、
00:14:22	202ページ以降にあります。
00:14:26	今回資料の3で出てきますのは、先ほど戸部が言ったみたいで恐縮ですけど、
00:14:33	例えばでいくと、
00:14:37	稲井耐震の東京83ページとか宇部来のような先ほどの資料2の設計設備ですねコードのグローブボックスオープンポートボックスの風洞を含むと。
00:14:47	予備定量設計削減のフラグが立っているものを、
00:14:51	この後資料3では、その下ですね、3チームとして設計説明をしていくということで、統合した形に整理をさせていただいてございます。
00:15:03	先ほどありました設計説明分類っての縦軸に並べますと資料3でいうな203ページですね、今回MOX17分類あります。
00:15:12	これ、今回は(1)番のAチームを整理をしましたよということでございます。
00:15:21	資料3にいきますと、資料3の204ページのタイトルにあります通り(1)番のチームこれは設計説明文の1個大部分彦分ですね。
00:15:31	これはこの表紙が、その次の205ページに、
00:15:34	にあります、一つの設計説明分類に従って、A-1からI分3まで。
00:15:41	先ほど本文の冒頭でお話をしました設計としてはシステム設計構造設計配置設計を説明しますという分類になります。
00:15:49	対象がない場合は、例えば、対象の時に河野変更で書いてますが、この資料の構成も、
00:15:58	詳細設計見解表を小谷野資料2から展開をしてさらに基本設計方針計画処理の詳細な記載内容と、具体の構造の内容とかを、
00:16:09	比較をしながら展開をしていくのが、この詳細展開表になりますので、
00:16:14	これは設計で言葉で説明したものを図で、解説をしていくというのが②番の詳細説明図。

00:16:23	利益に関わる変更点が該当するものについては何を变えたのかわかる③番ということの、チーム構成で整理をさせていただきます。
00:16:34	あり、資料としてはその 206 ページが野川今回のグローブボックスのチーム、これと言うシステム設計構造設計配置設計って等の条文の関係集の方。
00:16:46	いうマトリックスがあり、
00:16:48	0 括弧 1 の V1、システム設計が 207 ページから順次展開をされます。
00:16:55	先ほど申しあげました通り 208 ページになる一番の詳細設計結果表があって、先ほどやったかは、
00:17:03	109 ページにあります通り、
00:17:06	先ほどは添付書類の概略の記載があったり添付書類の番号だけで資料 2 を展開しましたがここに来ると。
00:17:14	具体的な基本設計方針添付書類の記載内容と、実際今回システム設計として先ほど資料 2 で抜き出したものですね。
00:17:22	どうやって具体的には設計しているのかっていうのがシステム設計の中に書いてあると。
00:17:29	このシステム設計の展開する上で、例えば、何らか変更した場合にはこの期に関わる変更点のところは今バーになってますが内容が入ってくると。
00:17:39	ということ。
00:17:40	あとはここで言ってる設計の転換するというデータが条文の要求との関係を意識しないといけない場合には他条文要求との関係での意味が二つならに書くと。
00:17:52	いうことで整理をさせていただきます。
00:17:54	一番最後、一番右にあります資料番号ですがこの資料の中に入っているものについては、例えば一番下段で資料 3②、
00:18:04	設計説明図。
00:18:07	1 (2) (3) というのが該当しますということで、今回の資料の中でのひもづけがされているということ。
00:18:14	この一番上のシステム設計実際強化をしますというのがその下にありません。この評価については、
00:18:21	この資料の中というは、添付書類の 1-1-3-1、計算モデル評価計算結果という方で、具体を整理をしてお示しをさせていただきますという紐付けを、

00:18:33	させていただいてるということでございます。
00:18:35	この整理の仕方が、この後出てくるシートすべて同じでございます。
00:18:40	そのあとに出てくるのが 211 ページ以降の図ですね、こういったものを見てだったり表だったり、設計との紐付けで、
00:18:48	整理をさせていただきました。
00:18:51	いきなり表だという、そのつま抜けてもわかりませんので吹き出しで設計説明、せっかくけども、
00:18:58	システム設計の内容との紐づけを整理をして展開をするということに加えて、どの基本設計方針の番号に紐づいているかが括弧行書に関わっていただけるということでございます。
00:19:12	はい。同じような展開が 216 ページから 215 ページからですかね構造設計で展開をさせていただいているということでございます。
00:19:21	細かいところは、後程、これでこの棟耐震でピックアップして説明しますがまず、
00:19:29	概略としての構成の説明については、一旦ここで切らせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
00:19:38	はい。
00:19:39	規制庁山口です。狭いチャンスの資料の法制的なところで、ここまでに規制庁側から確認ございますでしょうか。
00:19:48	はい。規制庁の田尻です。それ今あって、閉じ込めの耐震は後でっていう話設計説明分類の話はもうやっちゃっていいんですけど。
00:19:58	はい。任命者でございます。はい。結構でございます。
00:20:02	はい規制庁足りる数、
00:20:05	ちょっと頭 3 右下 3 ページから本文が書かれていってというところで、ちょっと細かなところも含めて少し気になって認識合わせおきたいところで確認していきたいんですけど。
00:20:15	まず 3 ページのところから、累計分類とか設計の説明していきますよってこれまでも示してた話書かれていて、設計に関してはシステム設計構造設計配置設計に分けますよって言って、
00:20:27	ちょっとシステム設計が結局何を示すかちょっと認識合わせおきたいんですけどシステム設計のところタッキーの構造では説明できない設計っていうのに変えていってで、他方で構造設計のところ隣接設備と、
00:20:39	クリアスタッフ

00:20:39	またこっちですっていうふうになってるんですけど、
00:20:43	でしたっけ。
00:20:44	後では
00:20:45	資料3と、
00:20:50	なんかフローに近いものが表とかが乗っかっていて、
00:20:54	前中
00:20:55	板井ですけど、
00:20:59	はい。量減少でございます。はい。まずシステム設計っていうのは我々が考える認識をまず説明しますが、あるシステムをくみ上げるときに、そのシステムとしてある機能、例えば風量をであったり、負圧だったりというそういう機能を
00:21:19	作成しないといけない。江沢このシステムとしてどういう設計で上げていくか。
00:21:23	いうところの説明をするときには、システム設計の枠の中で説明をさせていただこうと。
00:21:29	例えば今言われたクリアランスのところなんかは、
00:21:34	前回、最初にですかね議論になった防護ネット等建物とのクリアランスみたいな話であったり、もうネット防護盤同士のクリアランスの話であったりとか、
00:21:44	いうことについては、この設備自体を設計する時に考慮しなければいけない事項に、隣のものと干渉であったりということを考えなきゃいけないそれはシステムでどうかといえば個々の設備の設計の要求事項との関係で決まるのかなということで、
00:22:00	この隣接設備等のクリアランスの話は工場設計の中に入れさせていただいたと、それがどこの要求からシステムと違う設計理由でいくのか、個々の設備の設計での要求できるのかと、そのスタートで、
00:22:12	この二つをつなげるのかなというふうに考えておりました。以上です。
00:22:16	規制庁谷井です。繰り返しつつなんですけど、今まさに
00:22:20	足が出たよ。
00:22:21	けど、
00:22:22	八級営業に近いものはどちらかというと、
00:22:25	される形です。
00:22:28	はい、海野石原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思って今整理をしました。悪影響の場合はその物自体を設計する時

	に、隣接周辺のものからの影響を考慮して設計するんだというご答えの設計の中の要求事項を
00:22:43	達成するための内容だろうということで、構造設計の中に入れてます。
00:22:47	規制庁としてわかりましたねシステム設計は、この後出てくる取り込まれた換気の話とは系統全体で見なきゃいけない話であるとか、
00:22:55	多分臨界の複数ユニットが多分こっちなんですよね多分システム系、
00:23:00	地下構造自体というよりは層厚影響みたいな形で見るとは、多分こっちですよ。
00:23:07	はい、乳井瀬谷でございます。はい。臨界のように核的制限値をオーバーしないようにシステムで系統ごとにその管理をしていくという、その公正性っていうシステムの構成自体はシステム設計
00:23:19	と思ってました。
00:23:21	はい、規制庁たですわかりました。若干そこでちょっと復習の意味を兼ねて何か聞いてしまったら申し訳ないですけど。
00:23:29	4 ページから類型分類の話がなってきたんですけど、類型分類のところは、
00:23:34	あれなんですけど若干最初から最初の話が紛れ込んできて申し訳ないんですけど、最初にとかにいうと、さっき言ったのは竜巻の話で、結局防護ネットと防護板に相澤家ますよっていう話になったと思ってますけど。
00:23:48	この類型分類っていうのをどの単位で分類するか考え方を先に聞いておきたいくて、
00:23:54	今さっき再処理とか MOX についてそれぞれこういうふうに分類しましたよっていう表がどっかのページ載ってたと思うんですけど、例えばそこでいうと竜巻はその二つに分かれるけど、溢水と離れ一つですとか
00:24:08	けど、
00:24:08	中身で同じじゃ同じ立ち位置が違うっていうレベルにわたってるものがあるような気がするんですけど、それを右下 9 ページからですかね、9 ページのところろう簡単に説明していただくと今竜巻と、
00:24:20	裁判分かれるかなと思ってるんですけど。
00:24:32	はい、乳井西浦でございます。はい。ちょっとこれ、全体の分。
00:24:36	はい。あります。それをどう考えるかってところにも我々ちょっと若干つまずいて、繋がってどう考えて分類していったかということの説明をさせていただきたいと思います。

00:24:48	この分類、うん。
00:24:51	端的に言いますと基本設計方針の構成で決めました。もうちょっと決めの問題があるかなと思ってた団体で、そういうことを決めてしまっています。
00:25:00	竜巻防護対策設備は、第2章の梶本金竜巻防護対策設備はということで、
00:25:07	竜巻に対して防護するために竜巻防護対策設備を設置します、竜巻防護対策設備には防護盤とネットがありますっていうのを分けて、第2章のその次のパートからも防護盤と防護でと分けて、
00:25:19	具体の設計方針展開しているということで、入口から分かれているのでこれも二つに分けるとということで、そこでもう決めて受けてしまいました。
00:25:29	3番の西尾丹でいくなんだと。
00:25:33	憲法基本的な考え方の基本設定をする構成から、
00:25:37	これについて、
00:25:39	質問、
00:25:42	古賀弁理士の船津選手が十分あたりということは、
00:25:51	だから、ポーリンクだったら、設備から見ているというのがあって、
00:25:57	現在の基本設計の構成設備と、
00:26:02	こういう部分で構成します(1)何とか(2)何とかの設備に重なった勇気をかけているということで、これを上げるのは、千田顧問。
00:26:15	金戸悩んで、今ここがピンで建てるということにしました。
00:26:19	同じです。グループの活動が三つに分かれてるのこれ新しく、それぞれに対して項目を立てて設計をする上で展開をしている機能しているというところを見て、
00:26:31	三つの竜巻と似てるんですね、分けたということでございます。
00:26:36	はい、規制庁通りです。ちょっと本庁側のマイクの調子が悪くて音声言われてたんですけどイメージとしては、基本設計方針の第2章のところで分類してることをどう、どう分類してるかも踏まえながらやりましたという形で言われていて、
00:26:49	例えばSEの場合に関して言うと、結局設計ずつして説明しなきゃいけないのが耐震性であるとかそういうやつであるとか、そういった目的っていう意味でいうと、多少構造とか形とかは違う当社もやることは一緒なので分類として合わせてやっていこうと思ってますと。

00:27:03	火災に関しては結局三つに大きくくりで
00:27:07	教育方針の第2章とか分けてるから一応分けながらやっていますよぐらいの説明でしたかね。
00:27:12	はい、由井西浦でございます際、その通りでございます。
00:27:16	はい。規制庁谷です。で、ちょっとさっきに言ってないですけど、何かアキュートナンバー10の間進め方の時も少し議論になったと思う
00:27:25	さっき説明されましたっけ。
00:27:27	日本原燃石原でございますはいちょっとそのあと説明しようということで、最初の段階ではスキップさせていただきました。この設計説明文に片付けないと最初の資料全く整理ができないので、
00:27:40	これをちゃんとやっておかないと思っています。ただ
00:27:44	悩んでます正直悩んでる理由はいろんなやり方があるなと思いながら、
00:27:49	前回ご説明した我々がもともとこの9ページを作っているべきもの、ベースにあるのは、どうしてもですね。
00:27:59	本文の4ページ以降にあるA、B2B2B3Bをこの分類が結構頭にあって、尾崎鳥羽氏というのが最初の稲田ぐらいまでの分類になります。
00:28:10	とはいえ、そういう形の、あれ、Noとはいえそう、それがメインっていうのもなかなかとそうなると、9番10番な場合になると、いう話なんですけど、今回、要求されている要求事項を調べてみてどういう整理ができますかねと。
00:28:25	いうと、例えば竜巻、外部衝撃っていうチームなのかもしれませんが、
00:28:30	衝撃で考えなきゃいけない設計の展開は、
00:28:34	防護対象設備と、防護対象設備にも入れない、いうみたいな図、あと、
00:28:40	対策設備ですね、そういったものがパッキンになりますんでっていうので、そういうものがある種、竜巻の撤去を達成しようと思うという人たちの主語になり得る所なんですけど。
00:28:53	こういう人が絞るっていうのは竜巻だけではなくて、かばんも外部衝撃関係はみんな一緒だと考えると、
00:29:02	何か一つを、
00:29:03	立てて、そのチーム、例えば外部衝撃の防護に係る設備とか、竜巻の防護に関する設備みたいなチームを作ってその中に、
00:29:14	一番2番もいるし、9番の人もあるし、11番10番の人もあるしっていう、



00:29:20	類、竜巻をトップに据えて種主要部にすれば、火山とかいろんなものが関連条文で入ってくると。
00:29:27	いうことのやり方もあるかなあと。
00:29:30	そうするとじゃあ竜巻と一緒に入ってくると。
00:29:33	いろんなやり方かなって人が誰で、そうじゃない人は誰ということ进行分类をしていって、大きなグルーピングがつかれるんじゃないかと。
00:29:41	ここから多分同じ文面なりきれない人が幾つか後で出てくるのでそれが多分、溢水とか火災とかは同じような、そのそれぞれのチームを作りに行くと。
00:29:50	なので今火災の感知消火影響軽減と言ってますけど、この火災の中には、当然ながら、防護対象の話もあるし、それ以外のはな、防護対象になりえない人の分を、何らか設計が従前通りの設計だということで、大丈夫と。
00:30:03	いう設計を説明しないといけない人もいる。
00:30:06	というやり方。
00:30:08	溢水も同じですね、溢水の中には、防護対象もいれば、垂涎の解除するチームも要るし、あとは対策設備も要るっていう、
00:30:18	おっさく外傷チーム、溢水チーム河西チームみたいな上げ方。
00:30:24	もう、あるかなあとってそのフレームいろいろ考えながら今悩んでるところでございました。
00:30:31	はい、規制庁谷井です。今少し話に出たんですけど、例えばさっき椅子1回流したんですけど、防護対策設備っていう意味だと、
00:30:41	的な防水扉であるのわかりやすいんですけど、今話の途中で出てきた溢水権者なくすための対策みたいなやつはじゃあどこ
00:30:49	欲しいと思っていて、
00:30:51	今、先ほどの説明だと、3とか567とかそこらを膨らます可能性もあるって説明だったんですかね。今、もともとはどっちかいう対策設備と、防護対象っていうので1から秋までと救急が分かれてるのかなと思ったんですけど。
00:31:07	はい。もともと考えたのはおっしゃる通り対策設備とそれ以外分けたイメージです。それを要求事項との見解で、今回例えば竜巻って何回も言うのは外部衝撃を新しく要求が加わったようなものなので、
00:31:24	そういうものを主語にした設備、一連の設備を一つのグループにして、地象分類例、そこを対策設備防護設備、

00:31:35	それ以外の何か波及影響みたいなやつもぶら下げてチームを作っていく ということはあるかなあと。
00:31:43	そう考えた理由は、
00:31:46	対策設備がそれでいいっていう理由がですね、守る対象外、そこにいる から、
00:31:51	各設備が存在するので、その基本設計方針をなるべく、
00:31:55	説明してあげないと説明としてはなかなか、
00:31:58	成立というかね、見てるかがなかなか見つらいんじゃないかなというの も一応一連の流れとして示すっていう意味でいくと、その要求事項をキ ックにしたチームを何か作ってあげたほうがわかりやすいのかなってい うのを、
00:32:11	慣れていたところでした。はい。
00:32:13	規制庁館です。若干自分も1の悪い方の順番したんですけども資料がそ の現場方が、
00:32:20	この次10ページの方で、結局、今回の主なもの。
00:32:26	説明の流れでいうと多分モック数とは多分構成が下
00:32:30	いってもくってどっちかっていうと対象物
00:32:32	まずはメインの設備としての機能説明しなきゃいけないやつを並べた上 で、そこで要は防護対象としての機能ものの存在を言った上で、火災起 因だったら10番から12番とかで対策設備の話。
00:32:45	予定だと思うんですけど、
00:32:47	今の説明っていうのは、もう複数を変えるという話の再処理とMOXは 別に行こうと思ってるんで説明ですっていうなどっちですかね。
00:32:55	はい。乳井瀬谷でございます。まず答えからさっきとMOXと再処理で 考え方を分けるという案です。
00:33:03	例えばですけど、10ページ意見MOXおっしゃる通り11番12番は火災 防護として出てくる者がいます。
00:33:11	とはいえ10番が消火設備ですね、いるっていうことなんですけど、ど ちらかという新しく物を設計するときに、どの設計方針に軸足を置いて 物を作りましょうかねということに立って、
00:33:24	分類をしているのが10ページだと思ってます。
00:33:27	最初にもう、いつから物を作るとなれば、おそらく閉じ込め、容器類と かですね、そういう機種で分けてるような分類が、項目になって、メイ

	ンを貼る条文が主要部になっていくと、その設計を決定づけるものですね。
00:33:44	になってそれがそれ以外のものが関連常務でぶら下がっていくみたいな分類額になるんだろうなと思いながら、先ほど竜巻とか溢水を例示してあげたのは、今回変更が加わった根拠になっている新たに要求事項が加わったものに対してどう設計するかと。
00:34:01	いう観点に立てば MOX と再処理ってやっぱり違うんじゃないかなってというのが、もともとの発想でした。
00:34:08	はい。規制庁谷です。多分今おっしゃられたのはすでに基本的な再処理の工程を課すために必要なものができてしまっているもの等、そもそも MOX に関しては理由とそのベースとなるところがいないので、1 からやるんだったら当然 MOX のような構成になって、
00:34:24	ベースができていた上で、内部事象であるとか外部事象とかに対して、さらに個別の対策立つようなものに関しては最終の構成考えてるんですけど、
00:34:35	今、例えば 9 ページのやつだけ見ると、最初にもこの間の進め方の変換進め方のヒアリングとかでも、
00:34:43	例えば冷却と動かしてます。
00:34:45	ふやすとか、いたりすると思うんですけど、そういうやつはそういった意味で別の項目が出てくるようなこと言われてるんですかね。
00:34:54	はい、乳井伊勢谷でございます。はい。
00:34:59	正直そういうところを詰めなきゃいけないと思っててまだ矛盾をはらんでると思ってます今回移設したやつを 1 から作っても一緒やろって思いながら発端は竜巻仮にもともと移設をするということになったので、
00:35:15	防護対象施設っていうのは 5 竜巻、何らかが守らなきゃいけませんという設計を具体的に達成するために発生したものだと考えて今は、
00:35:27	9 番にもともとの間の時には入れていたと。これはどちらかという防護対象施設と言っても、竜巻の例えば防護対象施設は、の一部に入っているものを 9 案の中に放り込みましたと。
00:35:39	というような説明をして、もともとは考えていたということでございます。
00:35:44	はい。規制庁の館です。現状は何となくわかりつつなんですけど何でいちいち再処理の話を先にしたかっていうと、

00:35:51	10 ページのボックスだけだったら別に何か頑張れば何か説明できてしまいそうな気がしたところを、ただ最初に適用する時にそのまま行きづらいなと思ったところまで今聞いている状況なんですけど。
00:36:03	今は、口頭で話されたような考え方の整理って、再処理の方は特にメインだと思うんですけど、ただそれで受けて MOX どうするかなんで、相互の関係言わなきゃいけないんですけど、
00:36:13	どれぐらいめどに整理できる進め方今やってるんですけど。
00:36:18	はい。新居上西屋でございます。はい。正直時間をかけてもしょうがないなと思っているのと、あとはおっしゃっていただいたようにこの共通順位を作り上げるのに、
00:36:30	MOX で目に入って説明し続けるのはなかなか辛いなというのを正直思っていたところですので再処理を作り、設計説明分類を作り一括ボックスで今作ってるものに対してどういう部分で、
00:36:45	示し方の差分が出るんだろうかというようなことも、イメージして、不正を作り込んでいかなきゃいけないと、役員の差分が出ないように MOX 名示す時に、ちょっとグループ数とかですねそういうのも含めて、
00:36:58	やらないといけないという認識でおりまして、
00:37:04	桑名家答えを出さなきゃいけない期限はもう過ぎてると思ってるんですけど、
00:37:08	とはいえ来週ぐらいには何らかこの今回のヒアリングを受けて資料を改訂し出すまでにはですね、
00:37:18	最初以下の考え方を決めて、
00:37:20	資料に反映してその考え方も付してですね話ができないというかなと思ってたところでした。
00:37:27	規制庁の谷です。右下 7 ページの中段ぐらいカラー設計説明分類はこう設定しますよっていう考え方が書いてあるんですけど、多分この考え方見ただけで、9011 ぐらいね、11 ちょっとわかんないけど 90 ができ上がるかっていうとなかなか難しいところもある気がしていたのでやっぱ考え方聞かないと、
00:37:45	何でこうなるのっていうのが解決しないで済むような気がしたので、ちょっと整理が要るかなと思っています。
00:37:51	ちょっとすみません自分が話してますけど他の方あればお願いします。焦って説明。

00:38:00	すいません
00:38:02	この資料はです。
00:38:13	今おっきくない、屋外を
00:38:16	常設。
00:38:26	話題な
00:38:29	中っていう理解。
00:38:33	はい。日本原燃石田でございますはい。検討というのが今、検討中というのが今のステータスでございます。前回進め方のヒアリングでいうとご意見をいただいて、
00:38:45	中で議論をしながら整理を進めているところです。
00:38:49	今おっしゃっていただいたように屋内屋外常設可搬は今の 36 条の基本設計方針を作った時の、
00:38:58	それぞれ項目が他の火災とか竜巻と違って、ピンそれぞれ項目というよりは、代表性位置的分散の中に常設重大事故対処設備、可搬型重大事故対処設備とか、
00:39:12	いう人が出てくると、さらに、設計基本設計方針をそのまま展開していくときには、その中で常設重大事故対処設備の中で、
00:39:22	環境条件として考慮しなきゃいけないものに、外壁なもの内的なものありますねと。これは屋外にあるものと、建屋内にあるものであり、設計のコンセプトが違いますというのが出てきますので、
00:39:35	もともとはこの 2×10-4、4 グループにしてみました。さらに得ないというのはおっしゃる通りだと思ったのは、条線がない時現象に対する SA 設備ってのはやはり設計としてはコンセプトが若干明確にしなきゃいけない部分があると思ってまして、
00:39:52	そういうことを考えたときに、内的純水ない形成、
00:39:56	大塚される設備の設計を付近で立てて説明するっていうのも方法としては十分あり得るなということまでは今検討してます後は、
00:40:06	本当にそれだけだと、分類額として考えるのはというところの整理を、今させていただいてるところでございます。以上です。
00:40:15	規制庁の藤村で。
00:40:18	説明
00:40:38	等、
00:40:53	1、人間の医者でございます。はい。理事を単純にまず申し上げますと、今 13 番に無理やり放り込んで 1 回です。

00:41:02	はい。それがいいのかっていうところも今あわせて検討しないといけないと思って整理をしています。当然
00:41:10	衛星の基本設計方針どう展開していくかって整理とあわせて今コラボでええよう限界関係センサーまとめてやっていますけども、
00:41:18	おっしゃっていただいたように屋内の常設っていうと、常設経済部隊設備はという主語になって基本設計方針が展開される人たちなんですけど、
00:41:27	1.2Ss になるところに起因として、を起こさない 1 事故を起こさないために行って DSs 伝える人というのが出てきます。ただ、経営方針としては正直ですね何でここに入れたかは、
00:41:40	1 項目しかなくてそれを発生させてもあまりボリューム感もないので、今は 13 番に放り込んでいるという状況でございます。以上です。
00:41:52	今日はわかりました。
00:41:54	きちんと説明を今、
00:42:08	はいすいません私どもはある、明日、
00:42:12	あ、いいです。
00:42:14	けど、今設計する。
00:42:17	使用していて、
00:42:18	その 9 ページとかでこう分けますっていう話は資料にあるんですけど、
00:42:24	これをどう使うかっていうのは、この本文で言うと、どの辺に書き合せてるもんなんですかね。
00:42:38	はい。乳井瀬谷でございます。はい。書き合わし切れてないような気がします。すいません古作です。
00:42:47	古作ですいません。かけ合わせないという発言のところで止めたのも何か
00:42:53	あるんですけど、
00:42:55	12 ページの 3 ポツに入ったところで、2 ポツでの分類を踏まえということで分類ごとに説明していきますよっていうことに使うと。
00:43:07	ということだと理解をされていて、
00:43:12	サンプルに行くとそれがわかるんだけどということがなく、2 ポツでやっているからよくわからないっていうことなのかなあという気もしていますね。
00:43:23	それも図、最初の方にざくっとだけは書いてあるのかもしれないんですけど、

00:43:32	という状況の中で、この文章の構成自体もちょっとおかしいなと思っているのは、2 ポツ、
00:43:43	の表題は今のその類型分類しますということ。
00:43:49	になっているんですけど、その趣旨なり何なりがない中、いきなり 2 ポツ 1d、構造設計等の説明を踏まえた、
00:44:00	で、2 ポツに位置付けていうことになり、この二つの関係は何なんだみたいなことがない中、
00:44:10	2 ポツ 3 で変更点っていう話になり、
00:44:15	変更点が、7 ページの真ん中までだと思うんですけど、そのあと、項目出しもなく、
00:44:23	2 ポツ 1 から 2 ポツ 3 を踏まえとって、
00:44:27	何か書いてあって、先ほどの表になっていくと、
00:44:31	ということで、頭がないということと、7 ページの、
00:44:39	後半から、これなんですかっていうのがないっていうところが問題かなと思ったんですけどいかがでしょう。
00:44:48	はい、乳井西原でございます。はい。ありがとうございます。はい。まずそうですね。4 ページから始まる類型分類ってここで何をしたいのか、それぞれに 1-1、2-3 みたいのが、
00:45:01	どういう役割と 2 を明確にしたいと書いてあるのか、そのあとに出てくる 7 ページは正直はい、項目立てをした上で、資産ポストの繋ぎをして、ちゃんとバトンを引き渡すということを考えないといけないなと思いつつも、
00:45:17	いきなり文章を続けて書いてしまっているところに問題があるという認識もありましたので、はい。そういったところを整理をさせていただければと思います。以上です。
00:45:32	規制庁算さん。
00:45:35	補足いただいて、
00:45:37	その辺りわかるようになってということとあとその、今考えてることもちょっと教えてもらいたい。
00:45:43	けど、この後
00:45:45	資料 1 だったり資料に資料、3 件あるんじゃないですか。それをそれぞれその設計説明分類ごとに、
00:45:53	向こう、
00:45:54	資料 1 はまとめてなんですか、ちょっとそのあたり

00:45:59	活用の具体のイメージをもう少し聞かせてもらえますか。
00:46:04	はい。乳井西原でございます。すみません小坂です。申し訳ないんですけどは、
00:46:10	今の話って、別添でしたっけ。
00:46:14	この後話を具体していく。
00:46:17	でやってかないと。
00:46:19	志賀ハス白山休暇、ちょっと先に行っちゃってるような気がするんですけど。
00:46:25	進め方として、
00:46:27	石原さんはどう考えてもさ、
00:46:31	はい、宮でございます。はいちょっと中身の話の時に合わせて、先ほどさらっとだけ言いました、資料2の55ページとかについての表と、このパッケージの作り方ですかねどういう因果関係で出てくるかみたいなこともあわせて、
00:46:47	説明をさしていただくかなと思ってました。はい。
00:46:54	古作です。まずそっちに移っちゃった方がいいということ。
00:46:59	かどうかっていう。
00:47:00	ですけど、上出さん、この段階で何をっていうところろう、
00:47:06	D、
00:47:07	は何かあります。
00:47:10	上出ですけど、後で話し今の疑問が後で解決できるのであれば、全然後で変わらないです。
00:47:22	古作です。
00:47:25	当すとりあえずまず分類の考えていうことと言うと、資料123で言えば、1には全体でやって、そこで整理を、
00:47:37	した状態になるので、資料3の中では分類ごと、
00:47:43	ということなのはこれまで話をしていた通りで、それは軍備。
00:47:48	いろいろとただなしをしていったら、まだ具体としてどうそう見えてくるのっていうのをこの後の参考なりで、
00:47:59	ていてですね、その前、基本的な説明方針としてあると思っていたので、そうするとー
00:48:11	ある程度その分、
00:48:13	一括して行って分類こととはいうものの、
00:48:17	なるべく主条文の適合性としての塊で見えていけるようにした方が



00:48:26	全体としての基準適合というところが説明し切れる、或いはこちらも相互関係が分かった状態で審査ができる。
00:48:37	ということになるのかなと思ってそれで
00:48:41	先週の進め方のヒアリングにおいては、対策設備とかっていうことだけじゃなくて、
00:48:50	防護対象設備の関係でも、竜巻の関係で、
00:48:56	類型になるような、
00:48:58	対策を講じるものはどういうものですかと。
00:49:01	というようなことをまとめるべきじゃないかという話をして先ほど、その方向で、
00:49:06	検討していったところだというふうに
00:49:10	話されたと、ということだと理解をしています。
00:49:17	石原さん、ここまではそれでいいですよ。はい。二本木西田でございます。はい。今、前半の資料構成とかの話は、参考でつけているもので、構成がどういう分担になるかは説明をさせていただこうと思ってました後、
00:49:31	分類最初の分類の方がおっしゃっていただいた通りでございます前回の進め方のヒアリングを受けて、関連するものが1例として見えるような分類額を作った方が、
00:49:42	一連の設計方針が見渡せるんじゃないかということ考えているところでございます
00:49:48	はい。補足です。で、その上で
00:49:55	それぞれの上ではそれだからというかですね、準説明の順番としても、今回の申請の趣旨は何なのかといったときに
00:50:06	メインとなる条文から順々に行くということによって
00:50:11	やっぱり主のものが全体として大丈夫かというところが見たいということだし、
00:50:17	細かな話になってくるとバラバラ、
00:50:21	前と一緒にすみたいなの説明をするし、受けるだけでも、確認ができるので分割されてしまってもしょうがないかなと。
00:50:30	ということで拾い切れるだろうと思って話をしていると。
00:50:35	いうところですか。その説明の順番とかはあれですねここというよりは進め方た日の方で説明されるってということです。

00:50:46	はい乳井瀬谷でございます。おっしゃっていただいておりますが全体像を進めていきたいかどう進めていこうと考えているかは進め方の資料の中に入れて、金曜日ですかね、やらせていただこうと思ってました。
00:51:01	はい。補足ですよろしく申し上げます。何、何でちょっとそこまで話を展開したかっていうと、例えば再処理だ到達キーが主かなという。
00:51:12	ことで一番上に書いてあるんだとするとですよ。
00:51:15	竜巻の中にわあ、屋外設備は一通り入ってくるんじゃないかなと思う。
00:51:23	です。
00:51:23	そうする等、屋外設備の達成すべき関連条文っていうと先ほどの火災防護も入ってくるし、
00:51:34	溢水防護ん入ってくる中入ってくると。
00:51:39	というようなことになり、結構、その後に、所にすして説明するものも入ってくるんだと思うんです。
00:51:47	なので、摘み食いとして最初にいくつか説明がされて必要な分だけは説明はしてあると。
00:51:54	いう中、次の条文の説明になると、そっちの方をメインにしながら、部分的には前回、竜巻で説明したことです。
00:52:05	同じような対応を他でもやりますというところでそこを合理的に説明をしていくという形になるというイメージ。
00:52:13	なんですけど、そこは大丈夫ですか。
00:52:17	はい。乳井西田でございます。おっしゃっていただいたということは頭で考えるだけじゃなくて紙にして、整理しようということで今やってたところで、
00:52:29	はい、古作です。わかりました。そのイメージがつくと、9ページの9番10番というところを、どう分解をしてどこに入れていくと、
00:52:39	うまく
00:52:40	説明ができるのかということが腑に落ちるんじゃないかなと思ってまして、特に9番10番のやつはそうすそれぞれの条文にやっぱり関係してくるので、
00:52:54	どれをメインにして、その関連条文というのがどうその後の説明に繋がってくるのか
00:53:00	いうことで
00:53:02	頭の整理をしていってもらえればと思いますその意味は今回の資料の資料1ですかね、全体像がまとまっているので、その時の

00:53:14	確認として使えるんじゃないかなと思ってるのでまたそちらの資料の時に説明いただければというふうに
00:53:23	います。
00:53:24	で、
00:53:26	ここまでの話のポイント、分類として意識しなきゃいけないことみたいなことをこの2ポツのところですね整理していただいて、まとめていただければと思います。
00:53:37	現状の記載は
00:53:39	最もその位置付けの分類に引っ張られた形で、イメージされてたということがあって、現状の記載はあんまり高度もう見ないと思いますので、
00:53:50	改めて整理をしたところで確認、
00:53:54	いうところです。
00:53:57	はい、乳井西浦でございます。ありがとうございます。承知いたしました。はい。おっしゃっていただいたように、Bib数にかなり引っ張られて、2ポツの記載をしていますので、
00:54:07	もう一度ちょっとウェス
00:54:09	一旦ちょっとリセットというわけじゃないですけど1体と考えて物語を作っていく。
00:54:15	させていただきます。
00:54:18	付則ですすいません以上ですって言いながら、1点だけちょっと、先ほどの藤原の言った、
00:54:25	SAの方の内的外的にも繋がるんですけど、内的については基本、屋内設備であり、DB設備を使うという思想が基本的にあるのでそうするとDB設計でどうなったかと。
00:54:43	いうことが基礎にあるんだろうなというのが、許可の時の内的のSA設備について議論をしていたことと、
00:54:52	いうふうに思いますので、許可の清伊井のときの考え方っていうのをしっかりと意識をすると。
00:55:01	分類そんなに悩むことはないんじゃないかなというふうに思ってるんですけどそのあたりどれだけ今、
00:55:09	作業で、
00:55:10	認識されてるんですかね。
00:55:13	はい。日本原燃瀬谷でございますがちょっとすいませんこれまであまり私もう関与してるようで関与してなかった部分もあってですね、話はも

	う許可である程度の方がついてるといのはおっしゃっていただいてる通りだと思っていて、
00:55:28	これどういうこと、整理してたのかっていうのをまず書き下してファクトを全部並べてみるということである程度その分類学もできるんじゃないかということ、
00:55:40	これもいつも仏、恐縮です作ることの考え方をしゃべってから、いつ、どのぐらいの期間でアウトプットが出てくるかっていう、時間軸の問題あればな。
00:55:52	アウトプットが整理しきれてないところですそういうことをしたいということ、なぜかということについてはもう関係者と協議をして話をして、
00:56:01	BCG はしてますので、そのアウトプットをもとにまた中で議論をしてとこのを繰り返して、ブラッシュアップしていく答えに持っていければというふうに思っていました。
00:56:14	はい。補足です。
00:56:17	何を時間かかるのかがちょっと。
00:56:19	わからないんですけど、許可の議論からないんですけど、1本に整理資料ですけど、表を作ったり、
00:56:31	全体の関連性を議論したりというところ大分最終だんだん開いて時間をかけ
00:56:37	ですね。
00:56:38	それカー最終的にはす。
00:56:43	今回の設工認でも一緒ですけど、さかのぼって行って添付書類ではどう書くんだ本文ではどう書くんだと。
00:56:50	いうことになっててそれによってその要望としても、内的事象の
00:56:56	対処に用いるということですかね。用語正確じゃないですけど、しっかりと用語整理までして順番にどういうふうに、
00:57:07	に書いていくかということまで整理をしてあったはずなのって、
00:57:11	その整理に基づいて基本設計方針が書いてあれば、
00:57:16	そこから今回の作業設計方針、
00:57:20	なり配慮というふうに、
00:57:22	つなげていくときに、おのずとその塊が順々に出てくるはずで、じゃあこれはこの分類でこの分類で書けばいいだけっていうふうに思っていたのですよ。

00:57:33	何でそそれでスムーズに流れないのかなと思ったんですけどそのあたりでしょう。
00:57:41	はい。西原でございますはい。そこはまず一つ、すいません我々の中の人の異動とかを含めてすいません人がいなくなってしまったところもあって、
00:57:51	継承がうまくいってないところをイメージと繰り返してるところに時間をかける。
00:57:57	というのがございますので正直すいません
00:58:01	悩んでわかんなかったら聞きに行くかを説明してと思いますちょっと私も途中まではかんでましたけど最終段のところあんまり最初に関係なかったところもあるので、
00:58:12	どういうやりとり入れてファクトの抽出、
00:58:17	たところで、若干でございというところもあるというのが実態でございます。そこも含めてスピードアップして整理をしていきたいと思っております。はい。
00:58:27	はい、蘇武です。少なくとも、現状でも、
00:58:32	瀬川さんのお子さんはいらっしゃるんだと思いますので、まず、その2人だけでやったわけではないから、全部把握しきれてない。
00:58:42	かもしれませんけど、
00:58:45	そんなに難しい話でもないと思うので、
00:58:49	ちゃんと話を共有をして対応いただければと思い
00:58:54	つつ、
00:58:55	はい、功刀西田でございますはい。承知いたしました。
00:59:07	はい。
00:59:08	清長山口です。
00:59:11	当設備分類あたりの議論で、規制庁側から確認ございますでしょうか。
00:59:19	詳細はちょっと後でということなので、規制庁の田尻です
00:59:26	古作ですごめんなさいもう1点だけ、
00:59:32	先ほどの上出の発言を遮ったところで申し訳ないんですけど、
00:59:37	前もその人の数、
00:59:40	瀬、
00:59:41	防護対象設備の枠のところって耐専あるよねっていう話を、

00:59:46	していて、今もこれは分割してってっていうことの内数だとは思ってはいるんですけど、
00:59:53	耐震工種条文にしてっていうことがその再処理の変更のところには出てくるんだと思ってたんですけど、
01:00:02	その上で
01:00:04	先行していくものがあればそっちはつまみ食いになっちゃうのかもしれないんですけど、ツマミ食い説明できるわけもなくというので並行して、
01:00:15	耐震ワー
01:00:16	話しましょうねと、もともとなんて言ったと思うんですがその辺りって何か、
01:00:21	方針変更なり何なりありました。
01:00:25	はい。日本原燃石田でございます。すいませんいろいろと、2.3. こちら貸してしまって現状考えてますの
01:00:33	9 ページの分類じゃ駄目だと思って今考えている中にはおっしゃっていただいている通り、耐震を市場分にする、改造分というかアキュートかも含めた耐震形の
01:00:46	設計説明分類が作んなきゃいけないと、いうことで今検討を進めてます。
01:00:51	どってですね、おっしゃっていただけるように、
01:00:54	やんなきゃいけないってフラグ上げたんですけど、9 番 10 番みたいな、適当なの分類で郡くんでしまったので、立ち消えになってしまったんですけど、やはりやるべきだということもあって
01:01:07	次の資料の、この改訂版なのか、ちょっとあのタイミングを考えますが、ガイドとして、条文を対象にしなきゃいけない人の、どうやって示すかは、やらせていただきたいと思います
01:01:19	その資料の準備も、
01:01:21	引き続きやらせていただいて資料の計上させていただきたいと思ってました。はい。以上です。
01:01:29	はい。補足です。おそらく、その上で、説明の順番っていうのを繰り上げていかないと、
01:01:37	なかなか、
01:01:39	一連のところでの確認っていうのうまく回らないんじゃないのかなと思ってまして検討お願いします。

01:01:48	以上です。
01:01:55	あ、規制庁の谷井です。2ポツの紙でもう1点だけなんですけど11ページのところで、2ポツ4がいるんですけど、濃いIIは、
01:02:04	今時点でどこまで議論するかなんですけど、
01:02:07	あと、結局のところ設計変更ないとどうしようという最初にメインの話ではあるんですけど、大体今ここに書かれてるやつだと3ポツの構造設計等の説明を行う中の内容とすることをちゃんと書きますよっていう形なんですけどこれは資料1とか資料2とかを使いながら書くっちゃうことなんですかねそれとも別途何か説明するって話でしたっけ。
01:02:38	はい。日本原燃白尾でございますちょっとそうですねアウトプットをどこで示すかを書いてなくて恐縮でございます。これ2.40っていうのは、今のっていう29ページ以降に資料1の中で、
01:02:50	誰か4番目の設計説明分類をバーにする人がいますという話をしました。
01:02:57	ここで縦軸全部をどっかの分類に埋めるということがもともとの資料1の達成目標ではあるんですけど、
01:03:05	資料に資料3に結びつけていくということですが、AとBの4で全部埋まるような人たちで新たな要求としては何も変わってませんよというようにときには、ここをバーにしてその時点で、
01:03:19	これ以上展開詳細する必要ないというような整理をできないかなというのが2.4で受けた話です。以上です。
01:03:26	はい。規制庁の谷です。結局条文要件も変わってなくて設計も行ってないものなんですっていうので、どういったものかってのはわかりつつなんですけど、
01:03:35	横ばいになりましたっていう過程は
01:03:38	設備名とか、
01:03:40	見ていけば大体予想ではなくて関連情報を見れば大体予想できるでしょうっていうことになるんですかね資料1は割と結果としてここに居るのは理解していたんですけど、そこの古作です。はい。
01:03:53	すいません。古作です。
01:03:55	資料1は、言われるように結果でしかなくて、
01:03:59	それー。
01:04:02	が、なり、そこまで行き着くのがまずは資料2で、条文ごと、どういう、

01:04:10	ことを考えなきゃいけないのかの洗い出しガリーでこれはこれ、ここでこれはここでっていう整理があって、資料3で説明するべきところは説明されると。
01:04:20	ということなんですけど、
01:04:23	梶井さん言われるように、資料2に行った時に
01:04:30	資料映れば整理の結果バーになってるやつが資料に入ってるかっていうと、今ははい。
01:04:38	入れるつもりなのか入れないつもりなのかっていう、どっちですか。
01:04:42	はい。日本原燃佐田でございます。
01:04:45	結論から申しますと資料1レバーになったものは資料2が出てこない。
01:04:50	いうつもりでももとはおりました。ただまあ取れって説明何もしてなくていきなりばーって言われても、何だっけっていう話にしかならないところはおっしゃる通りだと思います。はい。
01:05:01	はい、古作です。なので資料2のところですね、少なくとも条文、
01:05:09	バーンバーというかその変更なしと説明する必要なしというふうに整理をしているもののリストは挙げていただいて、
01:05:21	何かみたいなのところがあるように、
01:05:24	どれだけ工夫するかわかりませんが、まとめておいていただくと、漏れがないということになるか。
01:05:32	けどもう、
01:05:33	立石さんそんなイメージですかね。佐治ですご指摘ありがとうございます信州幸せ事です。
01:05:43	はい、宮城西田様でございます。はい。承知いたしましたおっしゃっていただいて清。
01:05:48	伊勢対象設備リストですんではですね三角とかで物が入っている変更なしと一緒に出しながらもなんで変更がなくていいのかっていう説明も含めて、
01:05:58	何らか、資料2の中で展開をして、
01:06:02	資料1はそれって整理が押されてますという、何かの形をリンクを貼るという形だと思いますので、
01:06:11	はい。
01:06:11	そういう形で準備を進めますはい。
01:06:18	はい規制庁丹治先生よろしくお願ひいたします。
01:06:21	日本は自分が高齢ぐらいで他の答えないようであればさ。



01:06:26	行きたいところある産物に関してはさっきの話だと後ろの資料を使いながら、
01:06:31	水上説明する感じですかねここだけで何かやって、
01:06:34	前年ってどう集荷しました。
01:06:36	はい、日本石田でございます。示したいもののイメージはですね本文の3項と書いてあるものが、
01:06:47	右した、右下になってないとこれ15ページ以降ですかね、全体としては17ページに書いてある先回これが
01:06:57	資料の全体像にはなりますと、
01:07:00	神谷さんから先ほどご指摘いただいた、2ポツ3ポツに係る内容、本文の2ポツ、に係る内容が資料1、これ
01:07:11	対象設備全部を相手にしているので、これ全体の話をしてますと。
01:07:16	いう話、本文3のところに出てくる資料が資料2と資料3がありますと。
01:07:23	ということで、これが
01:07:25	買い取るを見ていただいた通りで、資料2は各条文のと言っているので関係する条文が全部フルセットでこの資料にぶら下がって、条文ごとにぶら下がるということになります。
01:07:38	予算は、設計説明分類のと言っているのでこれは設計説明分類ごとに、パッケージでき上がると。
01:07:47	ということですので MOX の場合は17、今入れていってますけども資料3がこの(1)から(17)。
01:07:55	(1)、(2)それぞれに対して-1-2-3と。
01:08:00	いう分類になってくると。
01:08:02	先ほどの設計説明分類をですね、
01:08:06	0分類していくかっていうことを考えたときに、
01:08:09	この分類の数をふやせばふやすほどこのパッケージがどんどんどんどん分かれていきますんで、パッケージの違うパッケージでリンクが張られるような設計方針が分解されてしまうと。
01:08:20	どういう形で説明を聞くのかその設計が正しいのかってのが、どんどんどんどんわかりづらくなるんじゃないかなというのもあって、この分類を考える時にはこのパッケージ
01:08:30	なのか。
01:08:31	いうふうに、設計方針が展開されて具体化されるかってところも、

01:08:36	まだまだね、この分類の数っていうのがどのぐらいが適切かというのを つけるのが実態でございます。
01:08:43	はい。
01:08:45	まず資料の構成通りどういう単位でこれがつくれるのかってのは、
01:08:50	簡単では今ざっくりです。はい。
01:08:54	はい。規制庁の谷です。今日構成のイメージは何となくわかりつつなん ですけど資料3にどういったことを書くかとかっていう話で後で長いと 資料2とか3ですね2とか3にどういったことを書くかは、
01:09:09	はい。続けさせていただければ、資料二、三、それぞれ今の二つ、全部 説明するというよりはどういう書き方をしていくつもりで今展開してる かっていうのを、
01:09:21	具体の話をさせていただければと思いますけどしくあるんですけど、す みません、古作です。そのアッコ古作です。
01:09:33	はい、菅課長、本庁が聞こえてますと、
01:09:40	いやすみません今音声がダブっていたので、消えるの待ってたんですけ ど、
01:09:47	現時点でちょっと確認なんですけど、構成はイメージできてるんです が、先ほどお話ししたように、資料3で下
01:10:01	分類ごとになっていてそれで順次説明を聞いていくという形のときに、
01:10:12	都丸市能展開表っていうのは、各条文入ってくると、分類の中で関係す る条文、式入ってくるということにな。
01:10:23	でてそうすると資料2っていうのはどういうふうな提示の仕方をしてい くつもりなのかっていうのの進め方はどうなってますか。
01:10:32	はい。上西原でございますはい。先ほどの低利でいくと、
01:10:39	資料を、
01:10:42	2-55 ページには資料をつけさせていただいています 55 ページから、
01:10:49	つけてる表なんですこれ日横軸設計設備分類、軸は条文とあと基本設計 方針で、そこに関係するものに丸付けを今してますこれは別紙2を、い ずれの資料の別紙4で言うと、
01:11:04	具体の設備が何か、何が関係するかっていうのがて書かれているって いうことを前提に、この丸付けを展開をしてあります。
01:11:14	この間お話ししたこれもうちょっと上に、どれが主条文かっていうのを書 いた方がいいかもしれませんが、

01:11:22	今回閉じ込めし業務のチームがグローボックスオープンポートボックスどからどうだろうか。
01:11:28	の分になります。
01:11:30	この間第一段階第1ステップ第2ステップとして第2ステップで閉じ込め関係のやつを出しますというところまでの、
01:11:38	このチームが出てくるんですけどここで、縦にずっと読んでいって丸がついている条文は、資料2で、その時にセットで出させていたこうと。
01:11:47	思っていました。
01:11:49	これが右いろんなチームが増えていくと、普通で丸付けが増えたら、その条文が資料に追加されるというイメージでした。
01:12:00	古作です。わかりました。そうすると進め方ヒアで行っている、ステップワン通なりという、
01:12:08	ある第3段階というようなところでの、
01:12:12	条文、
01:12:14	条文じゃない種条文の順番でその分類。
01:12:18	になってるところと、その関連条文というのが、
01:12:23	この資料一位のところで見れるので
01:12:27	いつ、資料2を提示するかが整理をされ、それに基づいて54ページのところの目次でいうと、随時となっているのは、
01:12:39	最初に関連してくるときに、順次いたしていきますっていうふうになっている。
01:12:44	はい、乳井西浦でございます。おっしゃる通りおっしゃっていただいている国でございます。
01:12:50	はい。補足です。大体進め言葉は理解し直し、
01:12:56	ただ、
01:12:58	形、
01:13:01	どってて
01:13:03	それであと今、
01:13:06	の資料3の(1)云々っていうことなんですけど、
01:13:11	これはあれ、
01:13:13	でした。
01:13:16	資料3っていうのは、添付123っていうので、再処理施設も9施設となっているので、この資料3っていうのの中に、

01:13:27	例えば今回出たら MOX 施設の全設備の類、類型分類が入ってたので、結論ということなので、累計数で下の (1) に冊子ってなっていく。
01:13:40	ということで横でしたっけ。はい。乳井世良でございます。おっしゃっていただいている通りでございますペースでいくと 203 ページに (1) から (17) 先ほどの分類 17 分類と合うような形でこれが全体像資料 3 出てくるパッケージですと、
01:13:56	いうことを書いておりました。
01:14:00	はい。補足です。わかりました。その上でですね、
01:14:05	累計の数って言ってないんですけど、
01:14:08	それでいけますよねみたいなのはここ見ていかないと、これ一緒じゃわかんないよとか、ああ、これ一緒じゃねえの。
01:14:19	というようなところとか出てくるような気もするんですけど、そのあたりの進め方ってどう考えてるんでしたっけ。
01:14:29	はい日本原燃社でございますはい。それがこれをどうやって説明していくかっていうのを考える人間の
01:14:39	腕の見せどころなのかもしれませんが、今は塊で 8 番までの閉じ込め、それ以外のものっての分けてまして、あとは本当は閉じ込め全体を一気に説明するよりは、
01:14:53	閉じ込めで関連失礼かつ、長谷川様なものを何個かピックアップしながら、あと火災とか他のものをですねピックアップして、それで、
01:15:05	この分類でお互い干渉しないのでうまく説明できるようになっていうところを、もしくは干渉したとしてもこういう絵も付けて整理できるよねってやった方が、
01:15:13	共通上にとってどう示していくかの全体像は、
01:15:17	わかりやすいのかもしれませんが。今日は今は閉じ込めで、まず全体説明してしまおうということで今やってみました。以上です。
01:15:28	古作です。今、磯山さんに言っていただいたようなことをやらないと、
01:15:34	クローズしないだろうなと私も思ってました。で、それも前回の進め方日当たりでも確認しましたが、それにしてもまずどの程度書くということやらないといけないかのイメージがつかないと。
01:15:50	関連性を持って説明しなきゃいけないのか独立してできるのかということも、見通しが立たないということだったと思うので、まずは、一番のグループ、
01:16:01	楠田というところで、

01:16:04	記載イメージを合わせた上で、その次に、総合、
01:16:09	分類ごとの関係性というようなことだったり、
01:16:12	どの程度での塊にして対応していくのかと。
01:16:16	関連性をどう説明するのかっていうふうにつなげればいいのかなどというふうに理解をしましたが、その点だと進め方費や農2番手といったときに、
01:16:28	そういったところまで今議論ができてなかったかなと思うんですけど。
01:16:34	そこはあれですかね、今週の金曜日に何か話ができますか。はい。行儀の石田でございますはい。
01:16:43	させていただかないと次の我々の中での作業とか術整理の仕方にも効いてくるかなと思いますんで、
01:16:53	進め方の時に、何らかこういう考え方でいきたいということは、話をさせていただこうと思います。正直もともと考えていたのは、
01:17:02	(1) (2) ってわざわざ挙げてますけど、(1)を説明すれば(2)ってあんまり特別に話をしなくても、あれかなと思いつつながら、(1)と例えば、
01:17:13	(6) 欄。
01:17:15	グローボックスのガーダーと中に入っている設備の関係があるんで、どういう紐付けで説明しますかね突起に設計時詳しい載ってますかねみたいな説明で、
01:17:25	変更するとかですね。
01:17:27	阿藤。
01:17:28	グローボックスストラップピット、この辺もし初動だったり遮へいの説明をするときに入り、リンクあるよねどういう位置付けで説明しようかみたいなの。
01:17:38	ところがあるというところ、あとダンパーとかシャッターのか、火災防護のやつ、換気設備との関係でどこにそういうものをつけてっていうリンクがあるとかですねどういう紐づけでどういう役割分担しようかと。
01:17:52	というようなところが効いてくるかなあと思っていて、そういうことを考えながら、
01:17:58	現場を考えると、いうことかなと思ってます。以上です。
01:18:05	はい、古作です。やるべきことはそういうことだろうなと思うので、
01:18:12	どう進めていくかと。

01:18:14	ということで、
01:18:15	使用できればと思いますし、その入口には先ほどお話したように、耐震、
01:18:22	としてのグループみたいのがあって、いつどう説明していきますかというのも、
01:18:27	ありますので、
01:18:30	どこまで資料として整理できるかっていうのはあるのかもしれないですけど、こうやって進めていきますっていうことを金曜日またお話ができる
01:18:46	はい。人間西原でございます承知いたしました。
01:18:55	ベンチャー。
01:18:56	山口です。
01:19:00	か。
01:19:03	清町側から確認でございますでしょうか。
01:19:15	原燃から説明、ちょっとさっき最初に、
01:19:19	規制庁谷井です。とりあえずここまでなさそうなんで原電とりあえず残りの説明しかやってもらう。
01:19:25	けど、何か規制庁側から、進め方で他の方がいい場合なかったら言ってください。
01:19:32	大丈夫そうなので規制原燃側から説明をお願いします。
01:19:38	はい。日本原燃石原でございます。はい。資料2と資料3の具体的な展開であったり、現時点でまだ課題だと思っている点。
01:19:52	を、説明をさせていただきます。
01:19:56	資料には先ほど報告の構成は、説明をさせていただきました。基本、左側は、別紙レベル資料の別紙2から展開をさせていただいていて、
01:20:09	設計説明分類であったり設計分類設計部の考え方と、
01:20:14	いうところが点、
01:20:18	別紙2をもとに、先ほど勝設計部説明分類をもとに展開をさせていただいているということでございます。
01:20:26	はい
01:20:28	具体の展開として例えば61ページ、委員会のチームのページがござい
	ますが、

01:20:38	これのシステム設計をやらないといけない、チームがありますと、いうことを書いてます。やり方としてはどれも同じでして、システム設計という分類があったらこの設計の中に
01:20:52	どういことをやっていかないといけないのかと。
01:20:55	いうことを、右側、一番右側に書き、何らかの番号の設計方針とリンクをする場合は、他の借換より括弧書きで、岡とのリンクをつけさせていただくと。
01:21:07	いうこと、あと設計に加えて、強化が必要な場合は、このどの設計と評価がリンクしているのかがわかるように、設計の下に評価という項目を挙げて、
01:21:20	上の設計であったことと評価の関係がなるべくわかるように評価のところの考え方を書かさせていただいているということでございますこれすべて同じような、
01:21:31	考え方で整理をさせていただいているのが資料2でございます。
01:21:37	はい。
01:21:40	あんまりここで特質が特別なことはやっていないのでどちらかと、資料3が1名、ここ、やり方をいろいろ工夫しながらやらささせていただいてると思っております。
01:21:52	ので、まず全体通して資料には、
01:21:55	先ほどあった条文単位で、かつ、
01:21:59	基本設計方針並べて、別紙2から展開したものに対してどの設計説明文の設計をする、今後この後資料3で、
01:22:07	説明するかということをはけていくということをしていただけてます。
01:22:13	資料3にいけますと、
01:22:17	まず、204ページに、今回の設計説明分類に対してどの条文の、
01:22:24	基本設計方針とリンクしている方の設計がつく通りにリンクしてるかという紐付けをさせていただくと、これそれぞれのところでやはり全体像をここにやはり見せていく必要があるということで、資料にもマトリックスされてますし資料3のところにも、
01:22:38	マトリックスを入れて、この後我々がどういことを説明するかっていうのをわかるようにさせていただいているということでございます。
01:22:46	資料3につきましては、209ページ、これも委員会のチームでございますが、

01:22:55	添付書類のが左から 1234 段目にあります。
01:23:00	ここに並んでいます。この後のシステム設計につなげる必要があるもの の対象の法律の、
01:23:10	こういうことを下線を引いて、番号を振って展開をしています。
01:23:16	その段だけ展開をしています。
01:23:19	まばらソフトのさらに二つ、三つ先ですね、の欄に出てくる具体の設計 として、この設計方針を踏まえてこういう設計をやってますという具体 の設計の、
01:23:30	後ろに括弧で何番と。
01:23:33	一緒に買ってナンバー番号がリンクをしているということでございま す。
01:23:38	これがどこまでこの設計の方の基本的安全処理の設計方針を具現化した ものかというのがひもづけがわかるようにさせていただきます。
01:23:46	前回前々回ですかね話をした時ありました添付書類の設計方針のところ の左から 4 番目の欄のところにですね、①番②番②番ときて、下線が引 いて前欄があります。そのあとに
01:24:00	いろいろと次括弧で 1 と。
01:24:02	別の形の番号の書き方をしているものがあって、これは
01:24:07	その添付書類の記載の一番下に、これは次回のもの対象で出てきます というのを、
01:24:14	義務づけをさせていただいてるということでございます。
01:24:18	ここで質問、
01:24:21	ちょっとですねさっきパートみたいにもう 1 回見たら抜けがあったりし たのでそれはちょっと整理をさせていただいて、ここでちゃんと全部が 展開できるようにしないとイケない。
01:24:31	いうことでございます。はい。
01:24:34	いえ、特に閉じ込めがですね。
01:24:39	117 ページからですかね。
01:24:44	始まってます取り込みの構造設計、構造設計の中の閉じ込めの条文から 始まってますこれすいません一旦と整理はしますけど
01:24:54	並んでる順番が諸条文がトップだったりして、そのあと、
01:25:01	数字がちっちゃい頃から順番かと思いきや、十条等 1118 ページ A で 75 が来て、



01:25:07	一番最後ぐらい六条が来てるのでちょっと順番は考えますがとはいえこれあの、
01:25:14	構文設計で持ってくる添付書類と別紙のもともとの書き方が、添付書類1段書きがついて2段書きで耐震と他の条文が違うのでちょっとグループ分けさせていただいて耐震が一番最後にしていると思います。
01:25:27	これがさっきの連帯の中にックスと順番が違うので、ちょっと見見ていただくときに近藤の混乱するかもしれませんが現状そういう形で順番にしていると。
01:25:37	ということでございました。
01:25:39	はい
01:25:42	あとはこの資料3を作る上でやったこととしては、
01:25:47	具体的話220分時とかですかね。
01:25:53	軍艦の変更点という欄がある程度大分バーが続くので、ところで
01:26:00	先ほどあった変更点を、リンクを貼っているということでございます。
01:26:06	言えば222の下から4段目3段目下の、
01:26:12	行動設計に対する評価と、ということブロックと江東協働に関するところの、
01:26:17	評価に関係するところでモデルの変更やってますと、具体は、別の補足説明資料に展開をしますよ。
01:26:25	ということ等具体的な本評価の結果とかについては耐震計算とリンクを飛ばしますと。
01:26:32	ということで整理をしています。
01:26:34	その下の構造設計連携のところについては、道路具体的な設計を変えて勝議員からの変更点を書く。
01:26:45	ということ、さらに
01:26:47	構造設計の左側にある、設計上の配慮事項と書いてあるところ、これは
01:26:53	社員で書いてあることを見て、府構造設計でやっていることを書き、この右左ために行ったときに、
01:27:01	実際の具体設計を、
01:27:04	読み取れるような設計方針になっているかと、ということを見た時にもうちょっと、
01:27:09	記載を付け加えないと、その相関が読み取れないよねと。
01:27:14	ということを変える事項の中に、記載をさせていただいてます。こういうことをやって、最終的には、

01:27:22	出したらこの添付書への詳細設計の方針のほうの記載を拡充していきたいという思いで、
01:27:28	こういう整理をさせていただきました。
01:27:31	それぐらいのようなものを耐震だけではなくて他の条文のところでも同じような展開をさせていただいてます。
01:27:38	はい。
01:27:41	223 ページも同じようなことで、配慮事項があったり、県からの変更点があったりと。
01:27:48	定例設計方針の番号展開は同じようにやらせていただいと。
01:27:53	いうことでした。
01:28:00	これもすぐ今後耐震の中の細かい話をさせていただく時に詰めて生かしていただければと思いますが、例えば 223 ページで、
01:28:13	広井比嘉と工藤決めてそれを満足するように設計をしますよと言うときに、現状、取り込む累計 0.25 ボリューム%以下というのとのリンクが、
01:28:25	うまくないかと、一対一にならないんだというところもあるんですがこれどうやって展開していくかっての添付書類側の記載を工夫したいというのが、我々の方で整理をした結果ですたとはいえ、これを、
01:28:39	浸透してやるのか、取り組みにちゃんと 0.25 と書いてあるので、その閉じ込めできる設計方針とリンクをとってそこで書いてる設計部が実態としては具現化するために
01:28:49	耐震側ではこういう書き方をしますというのを整理をすればいいのかというのはいちよと工夫が必要かなと思ながらも、今配慮事項にそういうことを整理をさせていただいたということでした。
01:29:02	はい。
01:29:04	あとは、同じような展開になってなくて若干悩みながら、
01:29:09	作っているのは、
01:29:11	右下 242 ページ、武道場、先ほどの
01:29:15	岡山機器とのリンクがあるところかね。
01:29:19	設計、それから添付書類でも、
01:29:24	曜日だ当たりのグローボックスの影響っていうのは、こういうことをお金設計をしてるボールを前提に、
01:29:31	落下してグローボックスのパネル強風点は、こういう状態を想定ししょうっていうのを部長変えるんですが、
01:29:38	この限定があって初めて、資料 3 の中の設計になるというのは、この

01:29:44	242 ページに、
01:29:46	どこのページを追加をさせていただいてます。
01:29:50	これらの設計方針とのリンクをどううまく見せていくかもちょっと工夫が必要かなと思ってました。はい。
01:29:57	というようなことで、展開をさせていただいているところでした。
01:30:03	これを説明する前にそもそも、
01:30:06	いけないところを言わないといけなかったんですが、
01:30:12	戻って恐縮ですが 55 ページから仕向けのマトリックスが、
01:30:19	あるんですが、今回はグローブボックスのチームでは外部衝撃に丸がついていません。
01:30:25	これは、別紙 2 を作った時にですね、
01:30:29	建物で、この中にあるものは建物が守る。
01:30:33	設計をすると構造強度を維持すると。
01:30:36	建物の中にある設備は何かと、そういう強度を持った建物に入れることで承認することで守りますって書いてあるんですがこれ別紙 2 ですね。
01:30:46	年要求すべてを冒頭宣言にして、
01:30:49	落としてまして、この結果も今回の分類では出てきませんとかいうのは配置設計そのものだろうということを考えると、設計部としては今回説明しないといけないので、別紙 2 も含めて、
01:31:03	修正をさせていただこうと思ってます。他にもそういうのがないかどうか、ご意見を見て、整理をしていきたいと思ってました。
01:31:12	結果どうなるかという、今、
01:31:15	54 ページで外部書記対になってますが、
01:31:18	次に、ステップ 1 を出す時に外部衝撃が入ってくるということでございます。以上です。
01:31:29	成長山口です。それでは資料 2 と、
01:31:33	具体については、規制庁の谷井です。江藤部長資料 123 について中身についてということで一応資料 1 から順番にということではいかせていただけたと思うんですけど。
01:31:44	資料 1 に関しては以前に設備リストが出されていて、そういうところに設備分類の話。
01:31:50	たり設計変更内容のところをちょっと追記したりという形かなと
01:31:54	理解ができなかった
01:31:57	のも、

01:31:58	設計変更があったと。
01:32:00	変更ルート、
01:32:03	条文の話が書かれていってその右側のところでどういう設計変更。
01:32:11	設計変更とか
01:32:13	けどここ
01:32:14	でどういう整理
01:32:16	1枚でいいんですけど、
01:32:27	藤規制序絶えず右下 31 の下、はい。
01:32:33	はい。すいません。その他以外のやつは書いてある通り条文の要求に従ってやっています。
01:32:40	その他に入ってるところどちらかというところ、当社側の理由っていうんすかね。
01:32:45	何らかの作業性を向上したいとか、そういう理由で変えているものがこのその他に入っているものになります。具体的に報等の活動をふやしたとかですね、そういったものの変更が入ってるのは、
01:32:58	実際何か耐震の有休とか重ね抜けがあるわけじゃなくて、自分たちの作業性の向上のために、そういった変更したというところを書いていました。以上です。
01:33:08	規制序異です。なぜここは江藤南の条文に関連して設計変更した方を表すところなので、極端課題のための対策設備ましたから火災の業務が書かれてその変更
01:33:20	内容が書かれる形になっていますと、ただいま言われたように条文の要求とは関係なしに、原燃が選定の向上のためなのか改善のためなのか設計変更したもの。
01:33:31	やっていて、大学も書くけど、関連条文に関してはさらに右端のところ、右限ってもたくさんありますけど、あと関連情報のところで示しがついているので、その設計変更が関連する条文ってのは右端で見てくださいなと、個別の業務のどっかだけに限り
01:33:46	主立って関連して設計変更するものではないですよってのがその他
01:33:52	はい。において資料でございます。はい。まずおっしゃっていただいている通りでございます。関連条文って書いてあるのはそのチェックになっている、条文を書いていますので、それとは別にその他と書いてあっても関連条文がないわけじゃなくてこの右側で、

01:34:06	出てくる方との関係で、設計説明しないといけない部分の条文は明確になっていると、いうことで整理をさせていただきます。以上です。
01:34:15	規制庁谷です。なんで火災とか耐震とか条文書かれてるやつに関してはそれに合わせた図面が資料3とかでも乗っかるんでわかりやすいかなと思ったんですけど、このその他とかで書かれてるやつに関してはそんな関連条文が多くないってことなのかもしれないんですけどそこを説明するような図が後ろに、
01:34:33	いくイメージなんですかね、資料3ですかね。
01:34:39	はい。日本原燃車でございます。今リンテージじゃないのでちょっと我々として、説明するとした時にどうする、どうあるべきかは整理をさせていただきます。
01:34:52	ゆっくりじゃないにしても、何らか自分たちで変えたものが、要求事項に対して影響がないという説明はしないといけないので、
01:35:02	ただいま言われてるのが、
01:35:04	改造案件議員からの変更点がこの資料3とかで全部並べた時に漏れなく出てきますよねってところに抜け漏れがないことっていう説明証明をしないといけないと思うので、
01:35:16	担当意識して、整理をさせていただければと思いました。以上です。
01:35:21	規制庁谷井です資料3の各資料の③番の既認可からの変更点系にも絡んでくるかな。
01:35:29	変更してるだけで何を変更したから、
01:35:32	ていうのが
01:35:33	後で圧壊目がなくなる可能性があるんで、こういったものかぐらいは、
01:35:41	はい。日本原燃千葉でございます。承知いたしました。
01:35:45	規制庁谷井です。資料1は自分以上なんですけど他の方で資料1あればお願いします。
01:35:54	規制庁上出です。
01:35:59	29ページで、今のページでもいいです29ページお話をすると、
01:36:05	その横軸で、
01:36:07	既工認からの耐震評価条件の変更箇所っていうのでこうつらつらと、何かあるんですけどこれってどういう考えで、
01:36:17	何を設けたのかって説明いただけますか。
01:36:22	はい。日本で2社でございます。はい。これは当初言っていた耐震建物01とセットで、考え方を含めてお話をしないといけないところが

01:36:33	片一方だけ社員が出ていってしまったところだと思ってまして、もともとは麒麟からの変更点として、耐震建物で一番他でももともと耐震起源の受
01:36:48	8 だけ、西尾さんだけ。
01:36:50	とかで整理をしていたものを合体させて耐震として整理をしたいと思ってたところのパーツを意識して、それと次になり、担当の整合とれるよ うにということを入れた、入れていきたいというのがももとの考え方 でした。
01:37:07	まずは、そういう考えでしたというところでまず清木ますはい。
01:37:12	規制庁個別耐震建物 01 ですかね、私が見た感じだと耐震建物 00 の、
01:37:20	計算書作成の基本方針、
01:37:25	ですね。
01:37:26	の項目を立てているのかなと思ったんですけど勘違いしてますか。
01:37:33	はい。ゆえにシェアでございませうちょっと私もすみません頭が追いつい てないかもしれませんこれも早うだせってはですね耐震だけモデルに町 道を示していくかで、
01:37:46	縦軸の整理をしたときに、例えば設備全部っていうこんな形ではなく て、耐震設計プロセスを縦に置いてそれと変更点の関係を示してって いう時の、
01:37:59	見込みよりも横軸を意識して書いたのが、今の分類になります。
01:38:05	とはいえ部
01:38:07	甲斐緊急体制。
01:38:09	設計方針の設計プロセスですかね。それとリンクがとれるよ うに うこと、分類が書いているつもりではありました。以上です。
01:38:19	はい。規制庁上出です。
01:38:23	何となく、
01:38:25	話は見えてきました横軸に並べてるのは基本的に耐震評価をする上で契 機となるような項目を
01:38:35	並べていて、
01:38:37	それは
01:38:38	00 における計算書作成の基本方針でもそうですし、0 一井レベルで、ど ういうところに変更点があったのかっていうところも時にも当然形にな ることなので、それで並べてますっていうことだと思いますが、

01:38:56	とりあえず、資料を1レベルでは、ここまで例えばその先方だ、拘束条件まで細分っているか、示す必要はなくて、
01:39:09	解析モデルの設定条件、
01:39:11	ぐらいのレベルでまとめて、
01:39:15	兵まとめですけど、フェーズ2、
01:39:19	やはり2本目に仕様でございます。はい。ありがとうございますおっしゃっていただいたように、それぞれの示すものに対してどういうメッシュで書けばいいかというところは、
01:39:29	おっしゃっていただいている通りだと思うので、整理を進めたいと思います。これは正直
01:39:35	このまま耐震建物でうちに持っていこうかなってところのスタートではありましたがとはいえこの資料でそもそも示す範囲っていうのは、どこまでかっているのが多分ちゃんとしてないと、
01:39:46	何でもかんでも書けばいいということでは多分ないと思うので、その整理をさせていただきます。以上です。
01:39:53	はい。規制庁岡部です。
01:39:56	あと、ここで言うと失点系モデルとか有限要素モデルとかって何かあって、
01:40:04	これ、変更がないから、どっちもバーになっちゃってますけど、どっちのモデルを
01:40:12	というクローブボックスはどっちのモデルを採用してるんだっていうのは、最初のところで
01:40:20	今日は共通12とかでわかっていて欲しい情報なんですって、それが表すのが、私はしても2だと。
01:40:31	そのの、
01:40:33	おそらく機器を持っているんですけど、今現状資料の2はそういう形になってなくて、その話はちょっと資料2-2入ってから話をしようともいますけど、まず資料1として
01:40:47	この横軸で示すものはもっとシンプルでいいんじゃないかっていうところですよ。ちょっとそのあとの話をもう少しします。よろしいですかね。
01:40:55	はい。入社でございます。はい。承知いたしました。
01:41:01	はい、規制庁上津で
01:41:03	ちょっと細かい話なんですけど、ちょっとこのページで下の方に行くと、一番左の番号で280いう。

01:41:13	一番、
01:41:14	180。
01:41:16	6 番くらいかな、186 番ぐらいになるとグローボックスがあっ て、
01:41:22	その耐震クラスって B-1 で、共振影響 P なんだけど、共振影響があ りますとか、
01:41:32	いうところなんですけど、さらに右側に 6 条のところのフラグコンビル と B-4 で変更なしとなっていますって、共振影響なんで、ASD の 2 分 の 1 で降りますっていうことであれば、
01:41:46	Ss が変わった現状だと、B-1 に入るんじゃないのかなと思ってるん ですけどその辺りって今、どういう。
01:41:54	そういうところまで今、精査ができてるのかどんなもんか。
01:42:05	はい。日本原燃車でございますちょっとこれは整理の仕方をもう一度 考えます。
01:42:13	この B4 が補んなんていうんでしょう、純然たる、何の変更もない B4 ではなくておそらく計算書がつくつかないかも含めて、
01:42:24	B4 のフラグを付けてると思うので、それをやってしまうと B4 の意味が よくわかんなくなってしまう可能性もあると思いますので、ちょっとそ この整理をさせていただきたいと思います以上です。
01:42:38	はい。規制庁深見です。わかりました。
01:42:42	何かそういう考え方も確かにあるなという気はしたので、
01:42:47	その B4 の中にどんなものが含まれているかというところが、
01:42:51	あらわれるっていう、
01:42:54	思いますし、はい。
01:43:00	あとは、そうですね規制庁たんなんですけど、
01:43:06	もうちょっと決まった話は聞きたいところはあるんですけど、今後の進 め方として、この資料 1 で
01:43:17	の中身の話っていうんですかね、ワー、どういうふうに話を聞いていく 感じにしますか。
01:43:30	あれ、私ですかね。はい。はい。おっしゃってこれもう多分、昆様の ヒアリングでのやりとりを踏まえて、
01:43:40	今後の進め方で、どうやってこの共通を進めていくのかということ を説明しないといけないだろうというふうには思っていました。



01:43:50	一つは先ほどあった再処理、どう整理の進めるということと後もう一つ優先順位の話、さらにはこの中身の話はどうやって進めていくのかと。
01:44:03	いう話を聞くわけで、
01:44:06	この第1ステップステップ1ステップですかね、分けたんですけど、とはいえ、ステップ1では形だけ決めますというと、これは何回かヒアリングやってる間に中身の話が全く進まないという話にもなりますし、岩手、
01:44:20	中身の話をする、この構成にも引っかかったりするところもあるので、
01:44:25	ちょっとそのやり方を単独をさせていただきたいというのをこちらで考えて金曜日の進め方の中でお話をさせていただければと思いました。以上です。
01:44:36	はい。規制庁管です。資料1、
01:44:40	だけで今話話しちゃいましたけど、2とか3とかやっていくうちに、今日の振り返りでも多分そういう話が出て、また進め方でってということだと思いますので、その辺もまた、
01:44:54	お話ができればと思います。ということで今、細かい話は特に
01:44:59	これ以上突っ込みませんので資料1について私からは以上です。
01:45:08	古作です。今の話でいうと、
01:45:13	共振を見るやつをB4でいいのかっていうのは、
01:45:17	ちょっとあの紙ではB4でもみたいな感じでしたけど、
01:45:22	どうかなという気もしてはいますねさらに言うと個別の計算書は付けないうにしても計算をするという方針になっていて、
01:45:32	実際にやる、やっているって古藤でしょうから。
01:45:38	そういう、
01:45:38	類型ってあるんじゃないのかなと思うんです。
01:45:44	定例。
01:45:45	いうのもあるので、資料3の方ですかね、提示をして説明されるのかと、というようなことも含めて話をさせていただきたいなと思うん
01:46:00	ですけど。
01:46:04	と、
01:46:06	だから結局またあの、
01:46:08	変更点が耐震だけでみたいなところになってくるような気はします。
01:46:12	けど、何か、

01:46:15	整理されてますか。
01:46:28	はい、日本原燃石原でございます。
01:46:32	はい。今回のもう XX 等を取り込めでグローブボックスが出てきて、耐震が関連条文で出つつ、
01:46:46	耐震重要度に応じてとか、あと 8 機の話も含めて設計方針は展開をするので、
01:46:56	それに対してそれを踏まえてこういう設計をしていますということを書くということまではしないといけない。
01:47:05	評価となったときに、S みたいなものは評価と書いて耐震計算書が紐づくくと、では耐震計算書がひもつかないものは構造設計側では設計しますと言って、評価はしているけども、
01:47:20	結果は、我々のもとにあるということで、申請書上は特に結果が出てこない場合にどうひもづけて変えていくかと。
01:47:30	いうことを整理をさせていただければと思います。具体的には、そういう設計方針に基づき評価をしますということだけの制限で終わりということだと思いますけども、それをどうやって具体的にここに書いて紐づけをしていくのかとか、
01:47:45	その上で、資料 1 はどういう分類で書くのが正しい形なのかと。
01:47:50	いうところがちょっと整理をさせていただければと思います。現状は多分、
01:47:56	振り任務にもなってない気がするので、ちょっと記載をもう一度確認をして、
01:48:03	具体の記載の謀臣修正案を提示させていただけるようにいたしたいと思えます。以上です。
01:48:11	はい。補足です。今の話を聞いていると、
01:48:17	この共通 12 っていう関係だと改造工事があれば、
01:48:23	評価のみって言った時には、
01:48:27	資料 3 の①のところでは、一応、
01:48:34	構造変更な強い評価やりますというふうに、
01:48:40	ぐらいを明示されつつ、
01:48:43	②っていうのは出るのか出ないのかっていう、ゼロでない方向になるんですかね。
01:48:49	はい西原でございます。おっしゃっていただける部分がまさしく再処理で工夫が必要だと思っていたところでしたもともと改造案件だけ熱等を

	示すかっていうのを整理をして定常したいと言ったのはまさしくその点でございました。
01:49:06	②が、
01:49:09	でなくて、
01:49:11	①でもう構造設計のところは既認可から変更がない、定期に行くから、
01:49:17	必要な評価だけがこの下に出てくると。
01:49:21	構造設計の欄には例えばですけど、宮ページがどこがいいか微妙なのですけど、
01:49:27	例えば 220。
01:49:30	スタンを励磁にとっていいのかな。
01:49:33	とかの、構造設計のところに協委員からここは変えてませんよということだけを書いて評価のところに、例えば何らかの Ss の変更によって評価をしますと、
01:49:46	ということ。
01:49:47	D 評価の方針結果については耐震計算で見せますというようなリンクが開かれるということでした。はい。
01:49:58	はい。補足です。そうするとー
01:50:03	放れ稼動をすると。
01:50:06	共通順位であればこういうものについてどう資料 1 の方ではっていうことは整理していただいて、
01:50:14	そこでマーキングされたものについてはこれと言えば計算書で見えますよということになっている。
01:50:25	ということで計算書でマーキングされたものが全体をフォローできてるかという確認をしていけばいいのかなと。
01:50:33	いうふうに A 思いますのでそれでマーキングされれば下野ができ、確認漏れがなく対応できる
01:50:43	思い
01:50:44	整理をよろしくお願いします。
01:50:47	はい、乳井西田でございますはい。承知いたしましたそれはここで言う評価基本設計方針に付随するものの対象物が行って、
01:50:57	先ほど上出さんをご指摘いただいたようなものが、そのグループの中で一部は計算書がつく、一部はないといったときに、この中で計算書がつくものが、1 回、どの登場人物なのか、

01:51:11	ここでうまくリンクを貼って展開できれば、全体の資料1との関係も、紐付けができる、ということになるのかなと思いますそこをちょっと整理をしてメールを見せるかと。
01:51:23	それが正しい形という紙、見やすいかも含めて後程修正案をお見せしたときに議論させていただければと思ってました。以上です。
01:51:40	はい。規制庁谷井です。一応資料1は定で他なければ次に行きますが他の方大丈夫ですか。
01:51:50	はい。規制庁の館です。ではちょっと資料について自分の方から少し確認させていただければと思います。例えば61ページを開いていただいて、
01:52:00	まずそもそもの、
01:52:02	どこに何か言ってるかっていう西河瀬なんですけど、
01:52:06	まず基本設計方針から、設計方針であるとか、何を表すものっていう分類から書かれていって、添付書類の説明内容どのように何か書かれてますよというのが書かれた上で、第2回申請のところが書かれていて、
01:52:19	ここで説明対象申請対象設備とかで、名前書かれて、
01:52:24	ここで申請対象設備っていうのも
01:52:27	先ほどの資料1と、
01:52:32	例えば今、項目番号の4のところという、スタッフへ
01:52:37	で、
01:52:38	設計説明分類に行くとグローブボックスの名前が書かれていて、個別説明で言うとグローブボックスとかもいると思うんですけどここでは何まで各線にしましたっけ。
01:52:54	はい。新居上西屋でございます。この会議開始申請の枠の、先ほど申し上げました添付書類における記載まで、
01:53:04	ここに左側ABC0資料の別紙で整理をしていますが、いずれ物量の別紙にこの申請対象設備括弧2項変更、②以降新規①と書いてある対象は、
01:53:20	村荘対象設備の縦軸に出てくる設備をこの基本設計方針リンクするものを抜き出して書いているというのが、
01:53:30	現状でございます。その設備が、
01:53:36	これ1回切らず、
01:53:38	違うな、どここのランクで書くかで効いてくるんだと思ってます。だから

01:53:46	もう回りくどいですね。
01:53:48	申請対象の設備、資料1の、
01:53:53	経験式なんだろう。堀切。
01:53:55	うっかりか2番目に書いてあるタイトルに適合するものを書くか、それとその後右側に行くと設備区分で出てくる設備名、
01:54:05	ここで書いてるかによって対象物幅が変わります。今のスタック編成設備は1、設備区分の一番右側ですね。
01:54:15	の、スタック編成設備許可の項目を書いているものはこの中にグローブボックスの月もみんな書いている状態の分類が、この基本設計を基に該当しますと。
01:54:24	ということで、今は専用させていただいているということでございます。そこがおそらくDとこの後の設計説明分類とリンクがとれるようにした方がいいんじゃないかと。
01:54:36	ということのご指摘のような気もします。
01:54:39	ので、そこはもうちょっと工夫をさせていただければと思いました。以上です。
01:54:43	はい。規制庁の加治です今懸念していただいた通りで、結局設計説明分類に基づきながら後ろの資料3とか、そこからぶら下がっていく個別
01:54:54	その集団の
01:54:55	っていうところで、
01:54:57	特に再処理のときなんですけど代表選手これですよっていうふうに最初説明されて、後々聞いていくと、何か聞いてない設計とかがどんどん増えていって、
01:55:07	その手前のところの資料2の記載とかもどんどん増えていった経緯がちょっとあるところもあって、中に何者がいて、そこに各かかる設計っていうのはちゃんとここに書かれてるんですよっていうのを確認しておかないと、
01:55:20	何か後で戻ってくるような気がしているんですねもっと車に関して言うと、
01:55:24	例えばこれボックスでそれぞれのグローブボックスにそんな差があるかって言うとなんか気があるんで、確率は低いかもしれないんですけど、先々見越して最初にも書くっていう意味でいうと中に何が入ってるのかっていうところをはっきりさせ
01:55:35	たっていうと、

01:55:36	なので、その辺りがどこかとリンクづけしてあってそこを見ればわかるんですよという形だったらそれはそれでやっていくので、その点だけよろしく願いいたします。
01:55:50	はい。西田でございます。はい。おっしゃってということはその通りだと思いますので、整理を進めます。
01:56:01	どんなものが入ってるかっていうのはどこ書いたかでもともと整理を進めながら、資料1の義務づけでわかるとはいえどうとはいえ声が明確にひもづいているというのがわかるようにさせた方がいいと思うので、
01:56:15	書き方もちょっと工夫をさせていただきます。
01:56:20	いう MOX としての顔がありながら、処理の別紙にいきますとここは非常に漠っと書いてあってそのこの整理をしないといけないという認識も、
01:56:32	持ってます。はい。そのこの作業も、別途整理を進めます。以上です。
01:56:38	中条館です。結局最終的になるなというところが大きいのでよろしく願いします。
01:56:44	ついでに、
01:56:46	次 62 ページにいてなんですけど、
01:56:49	例えば 62 ページ、すみません、古作です。佐治さんすいません。今の話って、資料1と資料2のリンク。
01:57:00	という、
01:57:01	ことですかね。
01:57:05	規制庁谷ですあろう、どっちかってイメージは、結局中にぶら下がってるのっていうのを確認する上で、それが資料1とリンクを張られていて、資料1見ながらやったらそこがはっきりするんですよっていう説明だったらそれもあるかなと思って資料1と絡めて聞いた感じでした。
01:57:22	はい。補足です。で、それで言うと資料1にちょっと戻っちゃうところも、
01:57:29	治療位置っていうのは、申請書添付で最初につける設備リストを、
01:57:38	との関係でどうかと言うのもあり、
01:57:44	全体的にどうひもづけてす。
01:57:48	確認がとれていくかということなんですけど、資料1は設備リスト縦軸一緒だっていうことでいいんですよ。
01:57:57	はい。二本木西浦でございます。はい。一緒でございます。
01:58:01	はい、蘇武です、これ、リスト、ナンバリングしてあるじゃないですか。て言うとう資料にナンバリング入れ、

01:58:10	たら、
01:58:12	関連性すごいわかりやすくなるのかなという気もしたんですけど。
01:58:16	どうなんですかね。
01:58:22	はい柳下でございます。はい。
01:58:26	女がおっしゃる通りです。はい。そこで番号でいくと言え、一対一の関係になります。はい。
01:58:35	はい。補足です
01:58:37	どのような話でっていうのはわかりましたので、その上で、どう書いて、確実にしていくかを検討ください
01:58:47	てます。
01:58:47	刀禰さんお願いします。
01:58:52	で、
01:58:52	次のところに行かせていただいて、62 ページのところ言ってたんですけど、まず認識の確認に近い。
01:58:58	どう、設計説明分類で一番上のところに今機械装置は、
01:59:03	という形になっていて、
01:59:05	それを横のところを行って設計説明分類の設計分類でいくと。
01:59:10	システム設計評価システム設計評価という形で、これは左側んところ行って申請対象設備の
01:59:17	項目ごとのところでそれぞれ書いてるからっていう形だと思うんですけど。
01:59:21	これ今、それぞれ書かれる形にはなってるんですけど、結局設計説明分類の中でまとめて説明すると思っておけばいいんですかねそれとも、
01:59:31	この機械装置搬送設備の分類の中では、こういうシステム設計の、
01:59:36	分類の考え方みたいな形がどんどんたくさん併記されていくようなイメージになるんですかね。
01:59:50	宮城西原でございます。まず設計説明部類の塊で資料3は提示をさせていただきますという意味で
02:00:03	このシステム設計が三つ重なってるところについては最終的には合体して資料3としてはシステム設計で展開をされると。
02:00:13	ただ一応この設計分離の考え方の右側に出てくる設計の考え方みたいなものを書くときに、
02:00:21	ものによって、一定程度の違いがあるので、この三つ分けて記載をさせていただきます。

02:00:31	最後の過程というのはここでの総合関係を示すために細かく分けていますが資料3としては、この設計説明ぶりで一つということになると思ってました。以上です。
02:00:44	はい規制庁鳥居です。なので最終的に資料3として構造を示すようなタイミングでは、この設計説明分類の項目ごと、機械装置とか搬送設備単位ごとぐらいのレベルでやるけれど、
02:00:56	その中で、最終的に設計分類の設計方針構造設計ですかね、構造設計とかで書かれてる内容っていうのは、各機器ごとでどういう設計かっていう、それぞれ考えなきゃいけないシステム設計とか要素をちゃんと踏み込んだものになってるっていうのを後々確認できるように、
02:01:11	資料にはしっかり書いてるぐらいに思っとけばいいですか。
02:01:16	はい。二本木西田でございますはい。合体するとはいえど、多分持っていたのはこの説資料自体が今ないので、後で出すときに、
02:01:28	システム設計の具体的内容を資料3で書くときですね、これがおそらく設計の場合だけとして、最小分離じゃないですけど、同じ機械設備、機械装置搬送設備の主
02:01:42	つよという設計の資料3の中で、こういう分類がさらに、設計を具体的に見ていくと、発生しなきゃいけない基本設計方針なりは一緒だけでも、
02:01:54	具体的な設計としてはこんな分類さらに分かりますということでお示しをするのかなと思う。
02:02:00	以上。
02:02:01	はい。規制庁鳥居です。次のグローブボックスの後の括弧書きで書かれるようなところで聞こうかと思うんです今話が出たんでついでなんですけど、今言われたように、す。
02:02:12	ちょっとページが戻って恐縮なんですけど
02:02:16	今回の資料でいうと13ページの
02:02:19	D3
02:02:19	国が行って、3ポツ2の黒丸の5ポツのところで、説明項目を細分化しますよみたいな話は書かれていて、その細分化の話と、設計説明分類の項目レベルの話Cの認識を確認しておきたいんですけど。
02:02:34	一応共通的な設計の考え方っていうのは変わらないから設計説明分類としては、例えばグローブボックスた構文何とかがっていうふうな形で書くけれど、その中で大きな方針一緒の中で、さらに細かく分けて設計方針



	をうたった方がいいものに関してはさらに細分化された項目が書かれてもいいんですかね。
02:02:53	はい。日本原燃石原でございます。はい。これがどこまで分類するしていくことで資料3の形態がどうなるかボリューム感がどうなるかっていうところを考えながらというところで、
02:03:08	おっしゃっていただいたように例えば委員会もそうです取り込みもそうですけど、大本からくる共通的な放射みんな一緒なんですけど、細かいグループボックス、オープンポートボックスみたいなもので、とじ込みの
02:03:20	どんどん深いところに堰外ポートボックスみたいなことで、どんどん、圧倒的に何をしなきゃいけない核圧なのか開口部の風速なのか開口部のシャッターみたいな開口どう維持するかみたいな。
02:03:33	個別の場合の設計がその会社の中で出てくるという場合に、じゃあ従来設計方針で9まで共通、1項が別々のときに、設計説明分類型まで分けるのではなくて、
02:03:44	設計説明分類は1個にしといて、中の説明を三つに分解して説明をするということのやり方を今は採用しているということでございます以上です。はい。規制庁鳥居です。多分今医師おっしゃっていただいたような考え方認識合わせとくのが重要なというふうに思っていて、
02:04:00	極端な設計説明文で細かく上げようと思ったら幾らでも開けられるんですけど、和気すぎると累計していく意味があまりなくなってしまうので、とりあえずは共通事故が多い設計方針の分類作った上で、今おっしゃっていただいたように、
02:04:12	大多数がその中で一部分多少の差異、しかもそれが設計を決定づけるような大きな差異というよりは多少ねらわ仮に近いような設計の場合に関しては、設計説明訓練を同じにしてるんですよとかっていうこと等ですよね。
02:04:28	はい。弓削西原でございます。おっしゃっていただいた通りでございます。はい。規制庁田尻です。多分これを今後個別に1個1個細かく見ていくと、
02:04:37	これはさすがに一緒なのかっていう議論が多分出てくるやつが今後出てくるんだと思っているので、そういった点についても今後確認していければいいかなというふうに思ってるんでよろしく願いいたします。

02:04:48	はい。日本原燃志田でございましょう気いたしました。そういったことが、前々から危惧されている通り MOX では無理でないような気もしているのですが、そういう意味では含めて確認をしていくということは承知いたしました。
02:05:04	はい。規制庁鳥居ですよろしく申し上げます。
02:05:07	僕がどんどん言っててもいいんですけどすみません何か他の方先に何かあればお願いしますなんかどんどんいっちゃいそうなので、
02:05:20	ちょっと事実なければついでにすいません確認させていただいて、次 67 ページとかで途中までのページは設計方針だけであるとか他の狭い言ったやつと同じよっていう形で書かれていて、
02:05:32	67 ページいってないんですけど、今度設計説明も、
02:05:37	やはり分かれていて、設計説明分類の所、
02:05:44	これっていうのは結局システム設計の話なので、それぞれが結局繋がった内容になるからこんな書き方になると。
02:05:53	はい。日本原燃石田でございませう。はい。しちゃっていただいてこれ設計説明分類四つに分かれますが接種システムの設計として、1 項です。
02:06:03	共通的な考えで設計
02:06:05	の
02:06:07	なお、
02:06:08	まさしく重複になるかもしれません同じことを 4 回
02:06:11	にする可能性がありますという宣言になる部分だと思ってますはい。
02:06:16	規制庁谷です。あとで資料 3 のタイミングでも少しお話聞くんですけど、今言われた重複って言った場合は、同じような図面を何回も付ける形になっちゃうってイメージですかそれとも前回言った通りですっていうような形のやつがある。
02:06:37	はい。具体、細かくすればするほど若干ながら対象にしているものが違えば、図の示し方と関わるにしても、システムにしてみれば同じような、
02:06:49	考え方の丸で説明をすることになると思っていました。はい。
02:06:54	ちっと他にですね重複っていかまとめた図面と、
02:07:02	はい、乳井西田でございませう。はい。おっしゃっていただいている通りでシステム上の搬送物が動く単位の入口なり電気なりがグローブボックスだったり、他の設備だったりっていうことで変わりますというだけで構成システムの流れは同じだものを、

02:07:18	使ってて、
02:07:19	ということで、
02:07:21	廃棄ちょっと例数が変わりましたちょっと個別個別のところでは何かまた議論にはなり得るような気がするんでその時に、
02:07:27	きます。
02:07:28	若干残りのとか資料3と絡めていきたいような話なんで資料に担当。
02:07:33	あれば、
02:07:44	規制庁上出です。資料2だと、まずその
02:07:50	55 ページで星取表が、
02:07:53	あって、
02:07:57	前々日、
02:08:00	例えば地震のところ、起こっていくところどうどうのところの一つも丸がついてないよとかっていう、
02:08:12	とらえ
02:08:23	んや。
02:08:25	はい、乳井西田でございます対象として、理数等へ精製は影響するものを、
02:08:33	対象に統合を考えてこのマル付けんなってる気がしますが
02:08:39	結局、永久意見、構築物に対して耐震は見なきゃいけないっていうこととの関係で丸付けをどうするかをもう一度整理をさせていただきます現状Bクラスだと、たるBクラスということで今丸をつけてないということでした。以上です。
02:08:55	Head 規制庁上出ですさっきの資料1とも関係するみたいですけど、マルつけ
02:09:03	て福岡
02:09:04	どういうことなんですか。
02:09:23	はい。日本原燃椎谷でございます。資料3まで来た時にこの共通刷りで構造図なんかを使いながら詳細細部も含めてとはいえ累計しながら代表選手ですけども、説明する対象にするかしないかっていうところが、
02:09:42	おそらくもともとの考えにあると思っておりますが、とはいえフラットに考えて本当にそれでいいのかっていうのが若干ながら疑義があるような気がしますので資料1の考え方も含めて全体、
02:09:56	ここで示すものを何を示すかということは整理をさせていただきたいと思っております。以上です。

02:10:08	はい。規制庁上出ですちょっと
02:10:13	申請対象は SBC すべてという観点でそれで、基本設計方針を一通りという観点からすると、ちょっと
02:10:24	大分絞り過ぎな気がしますので、その辺りはまた再考して、説明してもらえればと思います。
02:10:32	はい養命酒はでございます承知いたしました。ちょっとうちの中でもちゃんと整理をして議論をします。少なくこれ作ってる時に大分、
02:10:42	例の計算書をつけるかつけないかに引っ張られすぎてる気がしますおっしゃっていただける一定の設計方針も含め添付書類の設計方針を、
02:10:52	耐震クラスがついているものに対しての耐震設計として今回、
02:10:55	するというのが大前提ですので、それを踏まえた上で、その構造が設計方針通りになってますよねっていう説明する対象はすべてだと。
02:11:05	いうことを前提に整理をさせていただきます。以上です。
02:11:12	はい。規制庁神ですよろしくお願いします。あと多く、
02:11:25	うん。
02:11:28	規制庁上出です。あと具体的中身でいうと 78 ページが、耐震の話ですけど
02:11:36	耐震は親、
02:11:39	親じゃない本文方針があり、
02:11:43	さらに、添付の中でも、添付の一番底から行けてさらにいろいろひもづいてってということで、苦労はしてるんだと思いますけど、
02:11:55	私先ほど言ったみたいに、まず計算書作成の基本方針っていうので、耐震は全体どういう、
02:12:05	類型になるのかっていうのは、整理をされていてですね、さっきの、
02:12:12	資料 1 の話で、29 ページとかで、
02:12:15	戻っていくと、解析モデルって言うても、質点系と有限要素ですよねとか、設定条件といても、先方だったり拘束条件だったり、
02:12:27	こういうぐらゐの書類ですよっていうのは、整理しているんです。で、
02:12:31	それぞれ、要はこのグローブボックスは失点系モデルなのか弓削ガスなのかと、今度はどっから引っ張ってくる圧力はどれぐらいなんだっていう話を、まず、整理、

02:12:44	して欲しいなと思ってるのがこの資料2の役目で、それにしただって、 具体の構造はこうなってますよというのが資料3じゃないかなと思っ ているんです。
02:12:56	けど、今の話で、まず伝わるイメージは伝わります。
02:13:02	はい。日本原燃瀬谷でございますおっしゃっていただいているところは理 解をしました。ちょっとここはですねすみません我々も中で議論しなが ら大分うん。
02:13:16	こねくりまわしたところではあります
02:13:19	何を、いろいろ悩んだのかってのは一つは、
02:13:23	2-1の場合と2-2の範囲、耐震って特に耐震設計って評価かという で第2-2に行くわけじゃなくて、当然構造としての設計があるだろう ということで、
02:13:35	では2-1の範囲で説明するっていうのはどういうことだと言ったとき に、
02:13:39	今真壁さんが言われたところをどちらかという議員の2に軸足を置い た設計だとして、そのまま入れる。
02:13:47	土岐。
02:13:49	資料2の作り方です。なので、グローボックスヘイエスにするんだっ たら、
02:13:56	こういうところも申請して作るよね。こういう構造で作るよねって いうところをまずちゃんと書こうかというところで書いていった というのが現状でございます。
02:14:07	耐震計算の基本方針みたいな評価方針のところの立て付けまで行 ってないというのが現状の整理でございました。とはいえちょっとど こまで書くかってところをちゃんと整理をして、
02:14:17	この中で展開をしなきゃいけない範囲を決めていけばいいかなと思 いますので、現状の作り方をまずご説明させていただいたところ でした。以上です。
02:14:28	規制庁上出です。今の話、2-1、2-2の話でいうと、
02:14:34	2-2っていうのはあくまでも2-1を受けて、2-1っていうのは、設 備乗せ構造設計の詳細設計を受けてそれに応じて計算をするって いうことなんで、

02:14:47	そういう意味でいうと例えば、減衰定数とかもいろいろあるんですね、0.5 だったり 3% だったり、それは何でかっていうと、溶接構造だったら 1% 使えますねと、構成材料で、
02:15:00	なんだけどボルトを、
02:15:02	はメインのものは 3/day いいよというのが 2-2 で設定することなんですけど、それを、
02:15:11	決めるのは 2-1 の構造設計ですから、2-2 実見る項目っていうのを、
02:15:18	22 年何に着目してるかっていうところを考えて 2-1 として、何か説明するべきかというところを、して、
02:15:28	見定めて欲しいなと思ってるんですけど伝わりますかね。
02:15:33	はい。日本原電 2 社でございます。はい。意味は理解をしました。したつもりです先ほどの整備はあくまで我々がこれの線引きを、
02:15:44	説明させていただきましたので、その 2-1 と言っているものに、正しく耐震計算の
02:15:52	法人ですかねあそこっていう耐震設計プロセス。
02:15:56	これがいえる設計だと、こういったときに、そのあとでやる実際の評価で着目するポイントってのはその設計のプロセスの中に当然入っていて、
02:16:08	M0 の組み方しかり、減衰定数の振り方しかりいろんなものが入っているので、こういうものをちゃんと導けられるようないわゆる設計としての構造であったりと、
02:16:18	いう説明、それがまさしく先ほどのモデルの組み方ってか分類ですかね。それもそうだと、いうことだと思いますので、ちょっとどこぞっていう整理をするかちょっともうちょっと考えて、
02:16:30	展開をさせていただきたいと思います。以上です。
02:16:35	はい。規制庁上出です。
02:16:38	78 ページとかに戻ると、何で耐震の場合はこの資料 2 を完成させるまでに 1 回使う。
02:16:48	必要だと思っていて、
02:16:50	まずは
02:16:52	資料になり資料 3 でこういうものを示さないといけません 4 で示した方がいいです。9 認識を取りとった上で、資料 2 を、
02:17:03	一番左に何を書き、真ん中に何を書いてって話をしなきゃいけないのかなと思ってるんですけど、どういうふうに進められそうですか。

02:17:14	はい。新居上西でございます。はい。それから、前々から赤嶺さんが、耐震は別でやんなきゃねって言ったとこだと思うのでそれにちょっと追いついてない。こっちや。
02:17:28	恐縮でございます。まず資料2で、どういうことを、結局資料3でどこまでどういうふうを示すかってのを考えて、
02:17:39	資料2で出さなきゃいけない情報ってどういうことで整理しようかっていうのを決めなきゃいけないので、
02:17:44	それをまず、全体の考え方であったりをまとめてそれでまずどっか、1回でやらせていただき、ヒアリングをやらせていただいてそれを何回か繰り返して、この資料2の形に持ってくと。
02:17:59	ステップを取らしていただきたいと思いましたがいきなり作って失敗しそうな気も大分するので、ちょっとどういうステップでやるかはまた近いうちに、提示をさせていただいてご相談させていただければと思いました。以上です。
02:18:15	はい。規制庁神です。若干資料3をっぽい話にいっちゃいましたけどいきなり今日の話で、共通12を直してヒアリングっていうよりは、もうちょっと簡単な資料で、資料3で示すものを、こういうことを考えてます。
02:18:33	いようなところから認識を合わせたほうがいいのかなと思いますのでその辺りもまた進め方のヒアリングの時でもお話聞ければと思いますけどこんな
02:18:43	治療場あれば話できますかねという形でまた、提案いただければと思います。
02:18:56	はい。宮城西田でございますでしょうか。いたしました。
02:19:02	規制庁神です。資料2について私の方からは以上です。
02:19:10	規制庁の館です。資料2が、他に資料3のタイミングにと合わせてでも構わないと思うんですけどとりあえず資料3も含めての話に少し行かせていただきます。
02:19:21	資料3に関しては206ページぐらいにそれぞれ、どういうが該当しますよっていういけないのかどうかって言って、まずシステム設計の話があってなんですけど。
02:19:33	まずちょっと認識は清にまたなってしまうんですけど209ページから火、

02:19:37	表が書かれていてシステム設計として書くのはこれですよっていう表があって、
02:19:42	今 212 ページから②で詳細説明図として書かれてるんですけど、
02:19:48	ある程度システム設計は仕方がないような気もするんですけど。
02:19:52	説明、或いは設計方針と図があって変わってないかってのがいまいちよくわからんところがあるんですけど。
02:19:59	これ、例えばなんですけど 209 ページのところで 4 条の 43 とかいろいろ書かれていて、そこで書かれてるのって、こういうふうに分類しますよとかこういう構成ですよっていう形になってるので、
02:20:12	ほとんど示すというよりはシステム設計としてのどういう流れかを示すために、こういった形態の流れの図であるとか、214 ページの、どういう流れで動いてますよっていうのがついてるとまず思えばいいんですかね。
02:20:30	はい。二本木西原でございます。はい。209 ページに書いてあるシステム設計の中身によっても、何をずっとまでであったり情報を示せば、それが繋がるかっていうのは違うとも思います
02:20:48	システム設計の②番みたいなものは MOX 燃料加工施設全体でどういう形態のものがあるかって、臨界評価上どういう分類で整理をしていくのかと。
02:21:00	いう話ですし、
02:21:01	④のところ、全体の紙資料を質量管理のやり方としてどんな登場人物が行ってそれぞれどういう管理をするかと。
02:21:11	いう、設備の構成、システムの構成形ですかね。
02:21:16	の説明が 214 ページみたいな図になると、
02:21:20	とはいえ作った馬場丘陵の恐縮ですけども、もともとある図を、これは一番近いだろうと思って入れてますので、このためにどう作ったりしているわけじゃないところが、
02:21:35	田尻さんの違和感に繋がっていると思ってます。
02:21:38	はい。ちょっとこれへ説明をするために必要な情報が入ってますか。あとはもうちょっと、
02:21:46	説明するために必要なだっ तरीにしないといけないかっていうのは、もう一度中でもみたいと思います。以上です。
02:21:54	規制庁谷です。設計として何を示さなければいけないかによってだと思っていて既存の図を使っていたりすることを別に全然否定はしていません



	て、単に 212 から 14 とかもうなんか、吹き出しが伸びてるんですけどどこから吹き出し合わせのかどうかよくわからん
02:22:11	で、吹き出しに書かれてるやつって、基本的に 109 ページに書いてある設計の内容って立て働きだったりするので、
02:22:18	せめて対象物のところ、丸額でなく各ってもらったりするならそれで、それでわかるような気はするんですけど、今回のシステム設計自体が、この図ですごい説明をしなきゃいけないもんでないので、
02:22:31	この図に力をかけてくれとは思わないんですけど、今後システム設計ならば構造設計等が示す際に、既存の、
02:22:38	けど、どこの説明をしてるのかっていうのは最低限わかりやすくしていただいた方がいいのかなというふうに思い
02:22:43	そこは大丈夫ですか。
02:22:45	はい。
02:22:46	石田でございますはい。
02:22:48	おっしゃってたことは理解しました。
02:22:50	そうですね。
02:22:52	おっしゃっていただいている通り、212 ページの右の吹き出し真ん中のやつですけど、
02:22:59	原料 MOX 松江、ノックスまで 1234 ペレット 123 に分類しますって言って吹き出しをつけてますけど、
02:23:08	吹き出しの先にあるのはペレットにっていうのしかないと。
02:23:12	うん全体としてこういう分類していますっていう図があれば、多分この説明になるんじゃないかなと思いますけどその辺の、もうちょっと一対一の関係になる、もっといい図があるのであれば、そっちを使うべきだろうと思いますので、
02:23:25	もう少し工夫をさせていただきたいと思います。以上です。
02:23:30	はい。規制庁谷です今の図でいうと、ペレット 2 の後は燃料棒燃料を貯蔵マガジンという形なんで、結局、
02:23:38	ペレット人がいなくて後から別の分離みたいのが出てきたりっていう形なんで、若干混乱するような気はするので、
02:23:44	別の文表、別に吹き出しみたいな感じで火をつけないとつけて別に構わないと思うんですけど。
02:23:50	無駄な労力をかけるとは思っていないんですけどわからないようにはしていただいた方がいいかなと。

02:23:57	あと1点ちょっとわから
02:23:59	んところで、
02:24:02	作業の話が書かれてるんですけど、これシステム設計なんですか。
02:24:12	後の構造設計ところでバックにサポートができるような設計にしてるっていう図はついてたりしたと思うんですけど、これは個別設備の必要管理のような気もしたんですけど、ここはシステム設計で位置付けたんでしたっけ。
02:24:26	はい、新居上西様でございますはい。これは一つはシステム設計に織り込んでるのは核的制限値の設定自体が工場全体をシステム的に見て、
02:24:40	どういう単位でどういうところでどういう管理をするかということだということで、システム設計入れてます。ここの設定の核的制限値を決めた後のところでの管理みたいな、具体的な設備に、
02:24:54	残る2引くようなものが合同設計で説明をすると。
02:24:57	いうことなんですけどこれはまさしく比較的制限値の設定に関する説明だと、いうことで、システム設計の中に入れていたということでございます。これは
02:25:08	若干だから多分違和感はあると思いますけどこれも全体見ながら、適切な場所をちゃんと選んでいくということを見せていただければと思います。以上です。
02:25:19	規制庁の鳥井です。っていうのは認識の確認だけなんですけど206ページ見ていただいて、第4条だと今システム設計とは
02:25:27	で、これ今日、
02:25:29	かなというふうに思う。
02:25:30	見てたんですけど、
02:25:31	この臨界絡みは、行動設計という全部システム設計絡みで丸つけようとしてるんでしたっけ。
02:25:39	はい二本木西原でございます。はい。臨界はですねけっきょ食うなんて言えばいいんでしょう。
02:25:49	どこどこでどの、どういう核燃料物質をどう、どういう量で管理をしていくかっていうところはまさしく工場全体のシステム設計が、
02:25:59	あと、いうことで、それがMOXの場合はイコール民間設計そのものなので、今回、システム設計にしか丸が打ってないということでございます。以上です。

02:26:11	規制庁田尻です。農産整備とかだと、形状寸法管理とかがあるので構造設計も含めて示すことってというのはあるけれど、MOX に関しては基本的には質量とかの
02:26:21	うちの管理が主になるからっていうふうに思って、
02:26:25	はい。乳井西原でございますはい。そう例が、特徴をた場合の特徴だと思えます。形状寸法管理みたいなものがその形状を維持しないといけないので正しく構造設計そのものが、
02:26:38	臨界管理の押さえてるもんだと思ひまして、
02:26:43	MOX の場合はグローブボックスの中も渡り歩いていくのでどのエリアでどのぐらいの核燃料物質を、どういう制限値で取り扱うかという、この全体のシステム設計で、
02:26:55	これの臨界管理が決まるんだと、いうことがこの発想の発端だと思ひます。個々の機器と言え、全体の工程の中での
02:27:05	エリアごとの MACCS 管理であつたりと、いうことなんでないかなと思ひますけどちょっと、
02:27:11	そんなに、
02:27:13	おっしゃっていただいて私も最初の目でいったらじっくりこないのはわかっていますので、ちょっとそこは整理を設けたときに、失敗がわかっています。
02:27:21	できればと思ひました。以上です。
02:27:23	規制庁田尻です 213 ページだと燃料棒の収容装置とかのところでは計上する方もいたりするのでただこれ、
02:27:31	としての形状だ。
02:27:33	他のものと合わせて構成みたいな形に言っているようにも見えるので、ちょっとぱっと踏まえながらどっちに分類するかっていうのを考えた上で説明できるようにしていただければ、
02:27:44	多分システム設計はあんまり他の 1、
02:27:50	すみません、古作です。
02:27:54	臨界だからにややこしいんだろうなと思ひましたけど、
02:28:00	臨界であれば、
02:28:03	家、
02:28:05	核的制限値 C、
02:28:07	設定しますはもう運用の方の話にもなってくると思ひうんですけど、
02:28:17	今回どうなん。

02:28:20	パワー
02:28:20	図が、
02:28:22	臨界計算をして、その範囲、この数字で、
02:28:29	質量であれば、その質量で管理をすれば臨界しませんというようなことになってて、評価っていうのはくっついてくると思うんですけど、それでいうと 209 ページはシステム設計評価システムせ、
02:28:43	芸。
02:28:45	システム設計システム設計ってなってて、一番上だけが評価になってますか。
02:28:52	表。
02:28:55	麻痺、上のやつは評価に繋がるように、
02:29:00	システム設計がどうなってるかっていうことを書くんじゃないかなと思いますけど下の方は何で評価がないのかとかっていうことですよねちょっと全体の、
02:29:11	取り扱いの考え方とかを言っていただくと、システム設計で何を説明しなきゃいけないのかのイメージがあってくんじゃないかなと思うんで、
02:29:20	説明していただけますか。
02:29:23	はい。弓削仁科でございます。はい。後、
02:29:27	おっしゃっていただいている通り 59 ページから始まるりんっぱいの資料 2 ですね、これ
02:29:37	今これからこれ頭から全部委員会の設計ってのがどういう構成になるかっていうのが書いてあると。
02:29:45	ということで、また安全等に対する設計っていうのを、どうしていくのかというのが 61 ページからずっと書いてある。
02:29:56	0、この後、
02:30:00	どこだ。
02:30:02	複数ユニットの話が、その終わってあとあれですね田尻さんが先ほど言った形状寸法管理とかが 66 ページとか 67 ページに必要管理が出て来ると。
02:30:16	それぞれでおっしゃって取り設計と強化がセットになって構成されると、それぞれの設備ごとの単一ユニット複数ユニットの設計と評価が、
02:30:30	ちょっと定義になってないところがあるんで本当に次なくていいのかっていうのをもう一度確認をしますがなった上で、その臨界にさせないための管理を、全体統合してどうやって管理していくかが、

02:30:44	先ほどの 209 ページの 4 条にあったシステム設計、4 条の 13 番 22 番 27 番ですかね。
02:30:54	これが全体のシステムの話をしていると思ってますだからそれが、
02:31:00	全体としてどういう仕組み、になってそれぞれどういう役割分担で設計を説明するのかっていうのがもうちょっとちゃんと、
02:31:09	資料 2 の段階で、役割分担も含めて整理ができてないと、おっしゃっていただいているような、何でここだけ設計だけでいいのみみたいな話になりそうなので、そこ絶対わかるように、整理をさせていただければと思います。以上です。
02:31:26	はい。補足ですよろしくをお願いします。
02:31:31	一つ目、次の、
02:31:34	次のページ。
02:31:36	先ほど話のあった、212 ページであれば、
02:31:40	この
02:31:44	吹き出しの下側のやつで言えば、この形態を前提に臨界計算をしているというご等の入力条件を決める。
02:31:54	ことであるというふうに認識をしますけど、ます。それを何でシステム設計と言うのかといえば、この工程の中、そういうものしか入れない。
02:32:06	というような使い方になってますと。
02:32:09	ということですかね。
02:32:13	はい。日本の西原でございますはい。おっしゃっていただいたようにこの 212 ページでいくと、この燃料棒と書いて核的制限値%厚さ 15 センチ、富化度何%って書いてあるものを小山地区、
02:32:27	年間にならないための坂野兵藤小口の何%。
02:32:31	前提管理の前提になります。これは逆に言うとさっきの設計説明文離陸等機械装置とかあの辺の設計説明分類の実際の耐熱イントの設計であったり、構造設計であったり評価であったりとかっていうところに出てくると。
02:32:46	ここでシステム設計っていうのはこれ全体を通してこういう数字で管理していきますよという全体の思想の話を、
02:32:55	この全体の流れの話をしているので、まず非常に漠としたシステム設計の話で、
02:33:03	なってるところで、
02:33:04	全体をライブに失う移送なりぐらいの、

02:33:09	私は情報誌、
02:33:11	なのでこれも多分説明をする順番だったり、組み合わせだったりっていうのを、よく考えないと、ここで何を議論すればいいんだっていうことに陥るっていう意味な気がします。
02:33:24	ので先ほどの優先順位どうするかってのはこういうことも考えて組み合わせを考えないとなというふうに今思ったところでした。以上です。
02:33:35	はい。この状況であまり細かく話してもいけないかと思うので、1度整理をした上でまた確認。
02:33:45	よろしくお願いします。
02:33:51	はい、規制庁館ですよ。あんなさそうであれば次行かせていただいて、まず 217 ページなんですけど②の行動設計の方に、
02:34:01	けど、
02:34:03	書き方になってしまうかもしれないですけど一番上のところで授業の3、
02:34:08	設計書かれていて、
02:34:09	のところで、
02:34:11	丸を打ってグローブボックス本体当間土肥タブとかっていうふうに分けて書かれてはいるんですけど、これっていうのは構造示すところではこんな形でパーツパーツ、
02:34:21	図面を全部今後変えていくと。
02:34:26	はい荷揚げでシェアでございます。はい。まず、この、
02:34:31	出てくるパーツは具体の設備を見ながらあげているので毎回これを出すかというところについては、左側にある設計の説明をしないといけない対象が何なのか。
02:34:46	と思ってました。
02:34:48	217 ページの一番上の段の例でいきますと、
02:34:52	密閉構造で来たときに、グローブボックスを見てその密閉構造っていうのはある瀬取り合い部分であったり隙間が生じる部分というのを対象にして、
02:35:03	それに対する密閉を、
02:35:05	維持するという摩擦漏れ率の話をしていけないと考えて、具体の実際の設計図面を設計図を思い描きながら、
02:35:14	どういうパーツ物語る必要があるかと言うことで、この丸を挙げてます。

02:35:21	なのでこれ設計、左側の設計の説明をしないといけない内容が変われば、対象物の具体化が当然変わってくると思っておりますので、それぞれその設計をしに応じてこれが具体の構造に応じて分類されていくということだと認識をしていました。以上です。
02:35:40	はい規制庁と2です。今回のものに関してっていうところは認識した上でなんですけど、結局のところ設計示す上で強度の評価になるのが今回、
02:35:53	設計を示す。
02:35:55	としては衛藤小
02:35:57	ボックスですけど他の設備に関しても、このメッシュぐらいの幅名刺ぐらいの書き方で書いて、
02:36:08	はい。荷揚西原でございます。はい。
02:36:14	何て言いましょうか。ここまで細かい分類が出てこないにしろ、パーツを分けているのは事実です。
02:36:24	プラス、これもう、
02:36:28	60分なら出るときにすったもんだ話をしたのは事実でして、
02:36:37	耐震であるっちゅう閉じ込めも維持しながら耐震構造を維持します。設計耐震構造を考えた構造にしますよと。
02:36:47	いう時に、この構造が決める主たるものは何だって考えたときに、閉じ込めがほとんどになっているので、閉じ込めで設計していることを前提に、耐震側ではこういうパーツのところを舞台上で展開しますよという
02:37:02	と、
02:37:02	この217ページのような細かい分類が見えてこなくてこれの217ページの10-3、十条の3番の設計を前提にみたいな、整理で、耐震或いは展開するとかっていうのと、
02:37:15	それを主流の関係で掲示をつけてその分類額を持ち込んでいるのも実態でございますと、例えば、
02:37:22	ご質問の内容と、何かずれている感じがしながら答えてましたが以上です。
02:37:27	規制庁土肥です。
02:37:28	ずれてなくて単に耐震だろうか、外部事象の強度評価であろうが評価対象部位がどうしても出てくる形になっていてで、評価対象部位の構造に関しても各設備ごとで何かしら示してくっていう形で文書としての記載の形状は今後もあるような気がするんですけど。

02:37:44	各項目で今後評価対象部位でこの部分はこういう構造だからこういう評価してるんですよっていうのを示していかなきゃいけないときに、導入としてこういった項目ちゃんとか、
02:37:57	はい。
02:38:01	はい。規制庁谷井ですって。
02:38:04	ちょっと中身図の話と絡んでくるんですけど、
02:38:10	今後今言った強度とか他のところに行ってるっていうことも関係してくるんですけど 226 ページ以降で、構造設計に頑張るいろんな図をつけておられると思うんですけど、
02:38:20	これ共通 12 の図において、どこまで示そうとしてるかなんですけど、あくまでこの共通 12 の図はとっかかりに近いモノとまず思っとけばいいですかね
02:38:31	詳細にこれだけ確認できるかっていうと、途中途中で、詳細は別途に説明しますよって飛ばしたやつもあるので、結局そっちに行くっていうことかなと思つたんですけど。
02:38:42	まずはこういった設備ですよっていうのを図とか、それを説明と一緒に書いているのがこの、
02:38:48	詳細説明図とかの位置付けとっておけばいいですかね。
02:38:52	はい。乳井西原でございますはい。
02:38:56	今の現状はおっしゃっていただいた通りでございます。取っかかりというか設計方針との関係で、構造を、リンクを紐付けてですね、説明をしようというのを着弾して、
02:39:09	細かい細部までを全体、1 から 100 まで説明しようということでの図ではないというのが現状でございます。
02:39:17	はい規制庁と 2 です。
02:39:20	それで共通中に何でもかんでもつけまくる等、すごい量になっちゃうので、ある程度その考え方でいいとは思いつつんですけど、閉じ込めっていう意味でいうと、
02:39:31	とじ込みの 00 資料とか多分その補足も含めてなんですけど、あんま細かな行動を示さないところもあって、今 227 ページ以降とかのところではバスケットとかそういったところに関しては、
02:39:43	多分他の資料よりもある程度細か目に図をつけておられるのかなと思うんですけどまずここはそういう考え方でいい。



02:39:51	はい。弓削西田でございます。はい。細かくし、今回の設計方針の関係で説明をしなければいけないと認識してるところは、今、00 ついてるやつも詳しいよりも詳しい図がついての事実でございます。
02:40:08	はい規制庁た事実なんでどの部分で細かく説明するかっていうところで招待保管ところに説明した方がいいと言い続けて補足資料に具体を飛ばしたり、強度の説明書とか説明書で図しっかりつけるようなところ
02:40:21	場合は概略図みたいな形になって詳細そっちで説明します。
02:40:27	で、単に構造を図としてしっかり示せばここである程度完結させられるような、
02:40:32	に関しては、テープとか、補足とかのところよりもここでしっかり示す。
02:40:37	見てるっていう
02:40:41	はい。二本木西田でございます。はい今の点でいきますと答えはイエスでございます。
02:40:47	はい規制庁たやつはっきりしました。あと共通 12d す。この図面集のところで先ほど途中で針触れられたと思うんですけど、200、
02:40:57	32 みたいに
02:40:59	文書いっぱい書いてるやつがいると思うんですけど、これ等の前段で示しているこの①のやつとの関係なんですけど、
02:41:07	詳細設計の展開表等、この 242 ページだと 242 ページの方が内容を書いてると思えばいいんですかね。
02:41:17	はい与儀瀬谷でございます。はい。
02:41:22	まず、これをつけた理由はこれの方が細かく書いてます。これをつけた理由は、他の設計説明分類との関係で今回登場しない人もいて、
02:41:35	それとの関係で、資料 3 例をうまく説明しきれないなとそれがうさ途中で出た、どういう単位でどういう組み合わせで説明するのが最もいいかっていうところの、
02:41:47	242 ページなんかの文書が出てくるのはその最たるもんかなと思います。これも資料 3 をです、
02:41:55	機械装置グローブボックス機械装置搬送装置等、セットで見ますと、
02:42:02	それぞれ見てひもづけをすれば、資料 3 で一発クリアと、いうことだと思います。はい。
02:42:11	はい。規制庁大谷です。なんで簡単な図つけることもできるけど、結局詳細に関しては、こいつは何か

02:42:19	閉じ込め勧誘かちょっと沢床に飛ばしたら公社で安易ですかねユニットバス。
02:42:24	で飛ばすときに、こういった文章をしっかりと書いて、図ではなくて文章化
02:42:31	状況。
02:42:34	はい、乳井上西様でございます。はい。
02:42:38	逆に言うとさっきの閉じ込めと耐震の関係でないですけども、
02:42:44	それぞれの条文を受けた機械装置例えば機械装置搬送装置の設計の中で、
02:42:54	(2) の B みたいなことからいくと、今度閉じ込めのグローブボックスが何を書くかということ、搬送設備機械装置搬送装置の中の学校じゃない。
02:43:10	搬送の条文の要求からこれいうか、案いうのを、内部発生飛散物。
02:43:16	内部発生飛散物の設計要件に従って設計をしていることを前提に、
02:43:22	グローブボックスの閉じ込めの設計ではこうこうこういうことを考慮して設計しますっていうことが、
02:43:28	書かれると、
02:43:29	この時には IO とセットで言えば、その前段を引用する形で、できればその前段、お勤めが分かると。
02:43:39	ということかなと、同じく市も、
02:43:42	搬送ですねこれが搬送の、資料 2 だったり資料 3 の場合、機械装置、搬送装置の搬送に係る条文要求に対する具体の設計が書かれていれば、それを呼び込みながらそういうことを設計していくことを前提に、
02:43:56	閉じ込めのグローブボックス割れはこういう設計しますよっていうのが書かれると、
02:44:00	いうこと、あと、資料 3 を変えていけば事足りるのではないかなと私は思ってますここに新しくこういうものを書かなくてもですね、はい。
02:44:10	はい、規制庁た自立、結局どこで示してるかっていうのはっきりしときたいっていうのが一番の趣旨で、例えば今 200、
02:44:19	241 ページだったら、一番下のところで別途保存
02:44:24	しようって言っていたり、
02:44:26	247 ページ以降のところだったら、容量評価にて説明しますよとかいろいろ書いてんですけど、たまにそういうのが書いてないけれど、ここじゃ完結してないんじゃないかっていうのが、今言ったような構造設計

	で、例えば 244 ページの落下時の影響とか他に飛ばせるような気もするんだけど、
02:44:42	何かそこへ、他に飛ばしますよっていう記載が書かれてなかったりする ので、飛ばすんだったら飛ばしてるっていうふうに明示的に書いといて もらった方が、だからここでは概略示した上で後で示すんだなってのが わかるかなと思うんでその点を考慮していただけると助かるんですけど 大丈夫です。
02:44:57	バイクに下にシェアでございます。はい。ちょっと細部にわたってそう いう紐づけであったり、後段まだありますよという布石であったりって いうのが明確になるように、記載を整理をさせていただきます。以上で す。
02:45:12	規制庁谷井です。個別でどこまで載ってるのってない。相続でやるって いうところはまた今後個別に確認していきたいと思っているので、書き 方に関してはとりあえず 1 回十分以上何か、
02:45:33	規制庁、神です。ちょっと書き方っていうわけでもないですけど
02:45:39	耐震でちょっと確認したいところだけお話しします。
02:45:45	251 ページですけど、
02:45:50	まず、
02:45:52	言葉の使い方なんだと思うんですけどね、構造強度って書いてあって、
02:45:58	窓 WAC 雨樋ただとかバーシールとか、そういうものまで構造共同って 言っちゃってるんですけど、ここで言っている構造強度ってその、
02:46:10	0.9 すぎるとかっていう話ではなくて、機能維持確認済み加速度との照 査っていうことだと思うんですよね。で、
02:46:21	実際耐震評価そういう研究するとかと調査してるのは、反対だったりとか、 あとはポルト経営だと思うんですけど、
02:46:31	ちょっとその辺構造強度っていう言葉をちょっと広く取り過ぎだと思う ので、きちんと書き分けて欲しいと思うんですけど大丈夫ですかね。
02:46:42	はい。日本原燃石原でございます。はい。承知しましたおっしゃって いただいと構造強度を他で使ってるものを考えるとかなり幅が広いの で、あまり乱暴な使い方をしないように、
02:46:54	書き分けたいと思います。以上です。
02:46:59	はい、規制庁上出です耐震においてはそれをどういう評価をするのか、 その強度の評価なんか加速度を振ってみて家族の評価なのかっていうと ころが、

02:47:09	肝なところもあって、それは、こういう構造だから、そういう評価をするなんていうところがわかるようにして欲しいということですからよろしくをお願いします。
02:47:21	で、もう1点、
02:47:24	200、
02:47:33	少々お待ちください私のパソコンも、
02:47:36	今、
02:47:38	今一なんです、252 ページですかね。ええ。
02:47:44	252 ページの、
02:47:47	上から三つ目の、
02:47:50	伊田氏ですけど、ここでも構造境界変形とは言って言うんですが、
02:47:58	最後のところで、伸縮継ぎ手に影響を及ぼさない設計とするとするるのが意味がわからなくて、
02:48:05	これは変位を伸縮継ぎ手で吸収するので、何かに
02:48:12	波及的な影響を及ぼさないということなのかなと思ってんですけど、その辺ってまず技術関係としてどういうことを説明したかったんですかね。
02:48:29	はい。逃げ西原でございます。はい。もともとベローズ自体はジャバラみたいにある一定の幅でAはできると。ただそれを超えてベローズ自体が損傷しないということを達成したいということがもともとの思いではありました。
02:48:47	はい。
02:48:50	藤規制庁紙です。ベローズを変形させたくない。
02:48:54	というのがちょっとよくわからないんですけど
02:49:02	これ。
02:49:03	はい。有限2社でございますちょっとお話ししますんで医療自体は片理いする量幅っていうのがもともと決まっているので、それ以上に変位、
02:49:14	要は、
02:49:16	延ばさないっていうかね、それをやると、壊れる可能性があるのもその中に収めたいというのがもともとの話でした。はい。
02:49:26	はい、規制庁小磯の辺りも、
02:49:29	多分、

02:49:31	ベローズが大事なじゃなくて、守りたいのは多分グローブボックス下でそれを緩衝材として持ってる大津だと思うんですけど、ちょっと主流側、
02:49:43	呈してるような気もするので、もうちょっと適切な表現があるんじゃないかなと思いますけどいかがですかね。
02:49:50	はい乳井西原でございますちょっと整理はさせていただきたいと思います。もともと考えていたのは、グローブボックスを挟んで真ん中にベローズがいるというときに、
02:50:04	ベローズも一つの閉じ込め、全体の閉じ込めのバウンダリーではあるということで、これ自体を壊すこと取り込めばあるということで、
02:50:15	これ以外も、米の創出になると思っていたということでございます。
02:50:19	それに対して、ベローズに対してどこまで機能を求めるかということについては、
02:50:25	このフロー図で、両方のグローブボックスの併入を高変形を吸収したいというよりはこのベローズが稼働というかある程度伸び縮みすると。
02:50:35	いう中でグローブボックスの変位の中である程度おさまってればいいと。
02:50:40	いうことかなと。なのでお互いの変位がベローズが伸びるいう範囲の中に収まっていれば、閉じ込めの境界も維持できるというのがもともと考えていた設計思想です。
02:50:54	はい。規制庁菅です。わかりました。その辺りは、今度は資料2の話で、書いていけば、地名になるんだと思います。それで言うと耐震としての、
02:51:09	ベローズっていうよりは、閉じ込めの要求としてまずベローズがあつてと。それはさっきの話でいうと詳細設計の二ノイチみたいなことですけど、他の条文、こういうポツになっているのでと。
02:51:23	閉じ込めの機能というのはこういうところでこうやって担保するんだという話が、資料2で整理されると資料3にはこの記載
02:51:34	でっていう形になるん。
02:51:36	思いますので、また全体整理できればと思いますが、2回終わってます。
02:51:42	はい、乳井西原でございますはい。承知いたしました。整理をさせていただきたいと。
02:51:50	はい。規制庁神です。

02:51:53	あと
02:51:54	細かい話ですけど、※書きで、※1って書いてあってこれからグローブボックスの耐震計算書と書いていますけど、実際、計算書を見ていくと、
02:52:08	入ってなかったりですね、その評価については、
02:52:11	いずれにしても先ほど資料になり、資料3なりをどう進めては耐震等を進めていくかという時には
02:52:22	00資料の計算書作成の基本方針であったり、あとは実際の
02:52:29	計算書も00についてますから、00脇に置いて、
02:52:35	細かく言うとその計算書だと、この言葉って本体じゃなくて艦隊って、
02:52:40	娘みたいなのところもあるのでそういう言葉の並びとかもう、五つ必要なものか、資料に資料3でちゃんと展開できるかっていうのを確認できればいいんじゃないかなと思いますけど。
02:52:53	理解できますかね。
02:52:55	はい。乳井西原でございます。はい。計算書との関係であったり、005、隣におきながらというのは前もおっしゃっていただいた通りだと思います。
02:53:06	それに必要なものは、つけていると思います今回資料に資料3を求める中でこのつなぎが足りないよねとかっていうところも含めて、全体の整理をした上でどういう形に持っていくかと。
02:53:20	いうことの定義をさせていただく必要があると思ってますのでそれぞれ資料に資料3の役割であったり、他の条文とのリンクであったりというのを
02:53:31	さらにブラッシュアップして整理をしていきたいと思います。はい。以上です。
02:53:37	はい。規制庁深見ですよろしく申し上げます。で、あとちょっとまたわき道装置、
02:53:42	今みたいな話で、資料道場っていうと、資料1は逆に耐震建物01、石川さん。
02:53:50	おっしゃられてましたけど01との関係で、聞いていかなきゃいけないところもありますからその辺り今後の01をいつごろもらって、それとセットで話が聞けるのかってというのは今後の進め方、
02:54:06	の中で、また説明してもらえればと思いますけど大丈夫ですかね。

02:54:11	はい。野木瀬谷でございます。はい。所おっしゃっていただいている通りだと思いつつ、社内では生成整理というか関係者集めて話をしていますので、今後の進め方の中で、
02:54:24	耐震盾モデル市とのリンクであったりどういう時期に何を説明するのかというのはご説明させて、
02:54:31	たいと思います。以上です。
02:54:35	はい。規制庁鏡ですよろしく申し上げますけど私の方から資料3については以上です。
02:54:44	古作です。今の上手の話の中で私が十分キャッチできなかったのも、確認なんですけど、
02:54:57	ベローズの話でいい。
02:55:00	言っていて、閉じ込めの機能の関係からこういうことが必要で、それに対応するように、耐震設計をしますよという説明の中、
02:55:16	等 250 ページでの、
02:55:21	とこう。
02:55:24	の
02:55:27	言うと、機能維持、
02:55:33	この機能維持はどっかの最後の括弧書きで見ると 6 条、27 条のと言っているの、耐震の方に、
02:55:41	言っていて、
02:55:46	文章の中でも、閉じ込め機能の維持に必要なと言っているんでその上の
02:55:54	グローボックスはっていうところは鍵括弧で閉じ込め機能云々となつてというようなことで、これは何かっていうと、最後紙がその 01 といったようなところもあるのかもしれないんですけど、
02:56:08	機能要求それぞれ何があるかっていうのは各条で挙げられた上で、それを達成するような耐震設計ということから、機能維持方針のところ、
02:56:20	各条の要求がザーッと流れてそれに対する、
02:56:24	耐震の考慮というのが挙げられているのでこの、
02:56:29	6101 とかって言っているのはその部分が、引っ張られているということでまず理解はいいんですよね。
02:56:39	はい。与儀西原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。
02:56:43	はい。そういうことです。その文章が書かれてるんだとは思いますが、大本の

02:56:51	とじ込みの条文ってーのその関係性はっていうのは、
02:56:56	どうなってるのかっていうのがよくわからなくて、次のページにいくとグローブボックスの密閉性に係る設計というので、十条の何番とかっていうのを書かれてるんですけど、
02:57:09	この記載はどういうふうになっているのか、250 ページに何でないのかとかっていうようなところはどのような整理でしょうか。
02:57:41	堀場二本木西田でございます町長表。
02:58:25	はい。二本木西浦でございますお待たせいたしました。222 ページを見ていただければと思います。これは多分、細かく分類過ぎたかなという感じで思いますが、
02:58:39	先ほどの、されるといかんとか。
02:58:44	先ほど安倍さん言っていたいただいた図は、6、6 条の 6、6 条 27 条の 61-01 というのが左側で 61-7 の上側ですか、添付でいくと、
02:58:56	ここに多くのトリロみたいな考え方が書いてある、これに丸一番振りつつ、具体はというとその下の近くの右側添付書類の 2 に、設計方針 2 番ですかねここで②番とか、
02:59:09	具体の設計方針が展開されているのでこれをそもそも、
02:59:14	図の中で分けて書いたところが、
02:59:18	わかりづらくなった結果かなと。
02:59:20	思います。実際市場にあまり具体の設計は書いてなくて、
02:59:26	先ほどで言う回る 2 番が、
02:59:30	この 0.25%と直接多分紐づいた設計方針 NO 展開をしている部分だと思いますので、こういうところが紐づいてるもしくはリード文との関係だったのがわかるように、
02:59:43	フェーズの中でもうまくちょっと書き合わせればなと思いました。以上です。
02:59:53	古作です。すいません今の説明がついていけなかった。
02:59:58	どうです系統①って言われたのはどこですか。えっとですね、例えばですけど今は 256 ページの図の、
03:00:09	先ほどあった一番下側の左側の一番下にある構造強度を確保するとともに、
03:00:15	閉じ込め機能の維持に必要な教育委員会を専門家設計とする、61-01。



03:00:21	-1とか書いてますけどこれは先ほどの詳細設計添付書類の設計方針の閉じ込め機能みたいなものを含めて、教育委員会を設けて撤去しますよという、
03:00:34	リード文みたいなものの設計方針になって、それを具体的に展開したものが、の一部が251ページでいう真ん中の左側の真ん中の四角で言う、
03:00:46	構造強度粒界である0.25、漏れ率を達成するために必要な
03:00:51	構造にするための設計を展開をしているということなので、250ページの左側の下のこの大枠が、
03:01:03	ピンで成立してるわけじゃなくてこれと、251ページ例えばですけど真ん中の61-02ってのがセットでもともとは多分設計を
03:01:12	表してるんじゃないかということを見ると、分けて書いてもあまり意味なかったなっていうのがさっきの説明でした。
03:01:21	古作です。それで言うと
03:01:25	222ページ
03:01:28	さっき言われたように基本設計方針に線が引いて番号があり、
03:01:35	かつ詳細設計方針の一致でまた場を飽和ふらで、
03:01:40	ていうところで、
03:01:43	ぶら下がるものがあるのに、なぜ前段で線が引いてあるんだっていうことがよくわからないんですけど。
03:01:51	どうなってるんでしたっけ。
03:01:53	はい。二本木2社でございますすみません。これ私が最初考えた時と、路線がずれてるかもしれませんおっしゃっていただいて、かぶった時は後段側の添付書類で点を聞いて義務づける
03:02:07	は、
03:02:08	十分だと思います
03:02:11	重なってなかったら、変な話ですけどダウンを変えなきゃいけないのでひもづかないということから考えると、添付書類側で線を引いてリンクをとれば、構造設計等々リンクが張れるだろうと。
03:02:24	思ってますんで、
03:02:26	6-27-6条27条の61番のところは、機能維持、加除荷重の組み合わせと協議委員会のところにそもそも線が引いてあるのが、多分なくてよくて、
03:02:38	これっつう3-1-1と言ってる、戸谷添付。

03:02:43	この舞台で線を引いて量のが、1つの1-1-8からD展開をされてそれぞれ展開をされていくっていう構造くせ考えると、あまりこういう段違いにはならない。全体が右の方に流れて一見実際は3-1-1-8の添付の
03:03:02	記載を受けて、
03:03:04	実際の構造設計につなげるというやり方が、素直な整理かなと思ったりもしますはい。
03:03:14	はい。古作です。まずそうだと思うんですね。で、今ベローズの話でいうと、
03:03:26	200、222ページの61番の関係で言えば、下の方で変位、
03:03:34	変形の制限と。
03:03:36	いうことになってますけど、
03:03:39	これ実態だとまだベローズでも閉じ込めの機能という関係からの制限があってそれにはまるようにというところまでは書けていなくて、
03:03:53	その関係そうじゃどこで示してるのっていうところ。
03:03:58	もう見えないといけないっていうことですがそこはどうなっています。
03:04:03	はい。乳井瀬谷でございます。はい。今ちょっとパッチ当てになっているのが実態だと思ってます。読み取れないというところ我々が実際達成したい設計との、今の添付書類の記載だと、書き足りてないと思っているのが実態です。
03:04:21	す。
03:04:22	それを設計上の配慮事項のところに、隣接するブロック、
03:04:27	千本運営に対する考慮っていうのを書くということの一つは考えたいとはいへ、かく言うとちょっと、その左にスライドすればいいの
03:04:38	かって、どうもそれ等でもないような気もしていてもちょっと何を書くかっていうところと、あとは最後1-1-8の、いわゆる他の設計条件から降りてきてここに来るものがあると思うんでその紐づけも含めて考えて、
03:04:51	どういうリンクになるのかってところまで考えないといけないかなと思ってます。
03:04:56	なので、パッチ当てのパッチがあってかなり局所的に配慮事項に書いてますけど、全体考えてもちょっとどう展開しないといけないかを考えないといかんかなというところですよ。

03:05:11	はい。補足です。
03:05:13	10条との関係っていうことではこの表だと右から2番目で他条文要求との
03:05:19	関係というので、記載をされていて十条の、
03:05:25	304号、
03:05:29	と、04-6と。
03:05:31	ということで、これが
03:05:35	藤。
03:05:37	こっこの耐震で言えば、
03:05:39	設備の機能維持の機能っていうことに、
03:05:44	なってるということこの機能というのをここで、各条それぞれやつピックアップしてきませんということだったのか或いはこれにぶら下がる形で、
03:05:56	列記をするのかというところが記載レベルどうしましょうかと。
03:06:01	というようなことを、になるのかなと思いました。少なくとも今日、
03:06:08	関連条文と並んでいて、これが図面の方でわかるようになっていていうことで対応いただければいいですし、そうすると、るーん違うな。
03:06:25	構造図が②ですね、②の方のそれぞれの図面のところでは
03:06:31	耐震だけじゃなくて今の関連条文のっていうところの番号もセットで変えていくと。
03:06:38	ということにさせていただくと少なくとも、
03:06:41	認識ずれはなくなってくんじゃないかなと思います。
03:06:44	けど、そんな感じでしょうか。
03:06:47	はい。荷揚でしたでございます。はい。ありがとうございます。はい。そういう定期の月で何か例前提が決まっている条文というのがどこにあるかというのづけも含めて、しないといけないというのがもともとの考えでもありましたので、
03:07:01	そういうことの工夫、追加なりをさせていただきたいと思います。
03:07:07	はい。
03:07:07	はい。蘇武です。で、ちょっと書きぶりということにする。
03:07:13	進んでしまうと、このベローズの機能を、
03:07:19	としてその変形量が制限でってところが、この表現って全く読めなく、
03:07:25	てってというのは、

03:07:28	どうなってるんでしょうね。
03:07:30	ていうことなんですけど、何か、
03:07:34	ありますでしょうか。
03:07:36	甲斐英雄西浦でございます。はい。ちょっと全体通して、繋がりを、がうまく今言っていないと思ってます。
03:07:48	例えばです。閉じ込め側で 217 ページに密閉構造とかグローブボックス自体が、
03:08:01	漏えい率を確保できることというところで今、
03:08:05	ちょうど構造設計のところの上から 4 番目の丸ぐらいですかねベローズがあってこれ密閉構造を維持するため、てけステンレスのを接続としますよ。
03:08:18	飛鳥助っ人で挟んでブートで締結する構造としますよと。これどちらかという、
03:08:24	ベローズ自体の設計を言っていたよりもベローズが繋がっているところに、ジョイント部分の漏えい率なりを確保するための設計をしますと言っていて、0 全体。
03:08:36	の設計をこうしたいっていうのがあまり出てきてない。そこが多分、紐づけがうまくいっていない理由かなと思います。
03:08:44	間部ルータバウンダリーにしたいというのが前からお話をしているもとの利用料計でございます。それに対してどういうことを達成したいんですかと、閉じ込めの観点ではというところが、
03:08:55	どっか決定じゃそれを達成するために、耐震なんかではどういうことを設計として考えるのだと。
03:09:02	いうところが出てくるのかなと思いますのでまず閉じ込めまでちゃんとそれを書くっていうことがまず今できてないところがひもづけがうまくいかないところだと。
03:09:10	いうふうに認識はしました。はい。
03:09:15	はい。補足ですどちらでどの程度書いて、リンクを張れるようにするかということかと思しますので、
03:09:25	どちらでも、
03:09:27	成り立つと思うんですけど、整理をしていただいて、いずれにしても伸縮継ぎ手ベローズの仕様として許容変形量というのは、
03:09:39	明確にしていけないといけない。それじゃないと検査もできない、調達もできないということだと思いますので、

03:09:46	そういったところは
03:09:49	どこまで方針の方で書くかわかりませんが、この資料の中では見えるようにしていただきたいなというふうに思います。
03:09:57	はい、乳井西田でございますはい。承知いたしました。
03:10:04	古作です。ちょっと追加で言うと根本にはグローブボックスは基本的に
03:10:11	ベローズ以外のところは円形を押さえてということだと思えますね。で、その5にするというのの連結部というところでベローズがあってということでこれまでもお聞きしてましたけどそこら辺ってどう表されています。
03:10:31	はい、乳井西尾でございますがまずですねグローブボックス自体は全くもって、私も雲南でやっていたところですが、郷ではなくてですね、
03:10:41	要は結構見込まなきゃいけないところだと思ってます。今考えていくのは、
03:10:47	またBで当然打ってみて変形量が出てきて営業が出てきて、お互いの変位量をそれぞれ逆側に振った時にベローズの変形量を超えてないと。
03:11:00	いうことを説明することによって、閉じ込めのバウンダリが維持できますという説明をしないとイケないっていうのが今、前提で考えてました。以上です。
03:11:12	補足です。そうすると変形量、
03:11:15	なり能話ってのは結構あちこちで説明をしてかなきゃいけないっていうことだと思う。
03:11:22	けど、
03:11:23	小森。
03:11:27	そんな雰囲気を感じないんですけど、どうなっております。
03:11:40	改定新美西田でございます。はい。書きたくないというわけではないの では。非常に設計の組み立てでは十分書き切れてないので、各繋いでる部分ってのもしっかりと設計を条件として、
03:11:55	めさなきゃいけないと。
03:11:56	認識もありますのでこれは下、しっかりと、
03:12:00	必要なものを書き加えていくということをしていただきたいと思 ました。
03:12:06	はい。補足ですよろしくお願ひします。そのためにも先ほどの閉じ込 めの要求での機能というところがどの程度であってそれを受けての、
03:12:16	耐震側での機能維持と言ってるのかということが非常に大事だ。

03:12:20	で、この資料で、その関係性が見えるようになっていくということだと思いますから、それを受けて徳間で書くかということを確認していければと思います。よろしくお願いします。
03:12:30	確認していければと思います。よろしくお願いします。
03:12:35	はい。ユニシアでございましょうか。いたしました。
03:12:40	規制庁上出です。
03:12:44	1件忘れてたのが今の
03:12:46	グローボックスってそんな5でもないんですっていう話で、
03:12:50	そうなったときに、クロボクそん中にSクラス機器がある場合があり、それに対してグローボックスを今度間接
03:13:02	それに対して、間接支持構造的な位置付けになるんですけど、どう設定するのかっていうところがあるので、そこの話が抜けているしそもそも資料3だったりだとあの中に、
03:13:15	エネルギーシートを、何が起きるとその辺りもアピールするようにしておいてください。はい。遊技者でございます。まずおっしゃってること理解し承知いたしました。
03:13:27	ん中の内容物との関係も含めて、耐震、お示ししないといけないと思ってますのでそこ何がどういうふうにあるのかということを確認にして、
03:13:38	お示しをさせていただきたいと思います。以上です。
03:13:50	規制庁山口です。他、資料3に関して規制庁側から確認ございましょうか。
03:14:02	店長山口磯他投資予算に限らず全体を通してでも規制庁側から確認ございましょうか。
03:14:12	あれ、規制庁丹治です。途中で少し似たような話あったと思うんですけど、今後それぞれの設計についてどこでどこまで説明していくかって話なんですけど。
03:14:23	共通中には共通12で資料は精査されるんだと思うんですけど、
03:14:27	例えば閉じ込めの設計対応とか途中で話してた案の設計だとかっていうのは結局どのタイミングで何示そうとしてるんでしたっけ。
03:14:43	はいすみません八木西田でございます。今言われてたのが、対になる00をいつ説明するのかっていうことですかね。
03:14:55	規制庁た200000でもいいですし詳細な設計部分を飛ばしてる先がいて、要は飛ばしてる先で結局内容わかんなかったら共通12の構造足りなかったじゃないかっていう話になりますし、とんださんで

	十分だったらこれでパッケージになったらねっていうふうになれると思うんですけど。
03:15:11	そこらの説明なんで 00 に限らず補足資料も込みでも構わないんですけど、関連つくものをどこで説明するか、いつ、いつどこで説明するかですね。
03:15:22	はい。日本の西原でございますまずちょっと全体の整理をさせていただきたいと思いますはい。何かというのは、
03:15:33	鳥羽白崎が正しく 2-1 だったりその前提ならもう決めるための補足であれば、今回説明して、
03:15:43	添付書類との関係も含めて整理をしておかないと、全体後で取り、戻りが発生する可能性があるんで、
03:15:53	素行は、まずそういうものがあるんであれば、この前、今日中に説明するのと合わせてやるのか。
03:16:01	ステップを分けて 00 とセットでやるのかどういう段階で説明していくのかっていうのを、
03:16:07	絶対ちゃんと示した上で、どういう、何をどういう順番で説明するかを、今後の説明の中でさせていただければと思いました。以上です。
03:16:18	はい規制庁たです。若干は進め方のへりに近い内容になってるのでそう。
03:16:23	舞台に
03:16:24	いただければ、
03:16:31	規制庁山口ですとか全体を通して規制庁はバックにございますでしょうか。
03:16:39	それじゃ
03:16:41	振り返り、
03:16:43	あ、すみません古作です。
03:16:46	ちょっと、
03:16:48	触れ忘れちゃったんですけど 200、
03:16:52	57 ページに、
03:16:54	変更点ということで例示になる。
03:17:00	ものがあるんですけど、これも MOX だったからいいあれなのかもしれないんですけど、
03:17:08	淡々とその設計条件なりを変え仕様なりを変えましたっていうだけになっていてですね。

03:17:17	ええ。
03:17:20	藤。
03:17:22	改造という関係からすると、もうちょっと書かないとわかんないよなんて思うところもあるんですけど。
03:17:29	その点は、ここも国際力作るものなので単なる仕様変更になってっていうふうに理解をすればいいんですかね。
03:17:37	日本原燃菱田でございます。おっしゃっていただいている通り例えば、系統が繋がっているものをどっかいじりますという、どこまで影響範囲なのか、どこがどうリンクしてるのかっていうのも含めて示しをしてかつ、
03:17:53	資料3の中でもを紐付けをして説明しないといけないものが何かっていうところをやらないといけないので、新規で作るモック数みたいな形には最初にはできないと思ってます。
03:18:05	まさしくそういうのも含めて再処理の特徴を踏まえてどう説明していくのかというケース、としてちょっとパーツを準備しなきゃいかんなどいうふうにはもともとから思っていましたけど追いついて、
03:18:18	ませんということでございます。以上です。
03:18:21	はい、古作です状況わかりましたので改造のときにどうするかという認識も合うようにしていただければと思います。よろしく申し上げます。以上です。
03:18:34	基線長山口ですと、それやると本日はフリーヒアリングについて乗り換え利用していただきたいのですが、どうぞ。
03:18:43	本日も一旦休憩。
03:18:45	整理する時間、休憩を挟んでから再開という形にしますか。
03:18:52	はい。日本原燃白尾でございますはい。そうさせていただければと思いますすいませんずっとしゃべり続けて全く作ってもらってる部分が見えてないので、ちょっと確認する時間を十分ほどいただければと。
03:19:04	思いました。以上です。
03:19:09	工事再開で一旦ヒアリングを中断します。
00:00:00	公開しました。
00:00:02	原燃側から振り返りお願いします。
00:00:06	はい、乾西原でございます。はい。
00:00:12	資料構成とかタイトル、サブタイトルとあとは番号を順番に振って一括



00:00:18	ここに書いてますが下線の部分は今後の進め方の中で対応方針なり考え方を説明するという項目でございます。
00:00:27	最初の1番目は12の本文の記載ですね、2ポツ3ポツ部門の説明が
00:00:35	全体的に整理が必要だと。
00:00:38	ということでございましたというのが1番目でございます。
00:00:42	2番目は設計説明分類の分類の考え方ということで市場分等のバード管理上も関係し交付性を考えた上で、説明をする単位といったものも含めて、他の整理をするということでございます。
00:00:59	はい。あとは、3番は最初の設計説明ぶりですね。
00:01:04	ことでどういうふうを考えているかということもお話をしましたがそれも踏まえた上で、全体の分類額については、継続して整理をして、今後の進め方の中で説明をさせていただこうと。
00:01:19	思います。はい。
00:01:21	はい。④番は、SAですねこれも許可の整理ができていれば展開ができるということも含めて、今やっているものをスピード感を考えながらやっていきたいと。
00:01:37	頭出たのが1.2の議員系の話ですね、これもただどこに入ってるかっていうのは許可の整理も含めて、
00:01:44	展開していくということでございます。
00:01:48	はい。⑤番は、
00:01:52	設計説明分類でバーになるものですねこれは前々からあった耐震押し条文したような分類学もないと駄目なんではないかということも含めて先ほどの③番であったり④バーと話も含めて、
00:02:07	全体、最初に整理を進めさせていただきます。
00:02:11	はい。あと⑥番は、本部の中で確か2.4でしたかね、
00:02:18	違うと。
00:02:24	いいのか、多分、
00:02:27	これ設計説明分離がバーになるやつの話をしてたんじゃなかったか。
00:02:32	というものがな、全体の整理でちゃんと抜け漏れがないようにということの整理をさせていただきますということでこれの⑥はもうちょっとわかりやすく、
00:02:41	はっきり直します。
00:02:43	古作です。はい。多分まず最後の123の構成についてはいらない。
00:02:49	ですね。

00:02:51	資料1で、変な、なんだ、変更事項じゃないと。
00:02:57	ということで、
00:02:59	バーになってる条文について、それが変更ないということがわかるように資料2の中で対応する。
00:03:09	ことだと。
00:03:11	わかりました。はい、ありがとうございます。
00:03:17	⑦番はこれは、説明の順番であつた話だったと認識をしています。今、
00:03:25	MOX 閉じ込め書条文にあるチームをガーッと説明してそのあと、第3段階から説明するとしてますけど、
00:03:33	設計補助の繋がりであつたり、リンク売り掲示を考えたときに、果たしてそういう分類で説明することがあった、わかりやすいのかということも含めて、優先順位であつて説明の順番を考えると、
00:03:47	ということでございました。はい。
00:03:53	8番目は、
00:03:57	多分資料2を作成しないとでも、書くと変なので、資料2の中で説明されるようにすることでいいと思います。何か9月資料に作らなくなりそうな気がしたんでパーッ誤差です
00:04:12	説明の仕方が
00:04:14	変更条文のレベルじゃなくてもいいよっていう意味で言うのですね、何とか示したかったってということかもしれないですけど、説明されるように丸めるのか或いは何らかの形でぐらい。
00:04:28	はい。はい。
00:04:30	よろしく
00:04:31	はい。
00:04:32	まず、
00:04:34	あれが一番は最後田尻さんと個別補足とかに飛ばしているものを預けるとしているものは全体的に共通ジョイントの関係も含めてどういう進め方で説明していくのかと。
00:04:46	いうのを、進め方の中で示すことと、
00:04:49	ということです。そのあとは細かい個々の資料の話で、
00:04:55	資料1については変更期にかかる変更点のその他で何という、全体の繋がりのお話であつたり、

00:05:04	あとは既認可の変更点のモデルの高度化評価法評価条件の変更のところのメッシュの細かさですね。
00:05:11	という話。
00:05:13	あとは、11 段は、B の 4 としているところは計算書が添付されないものを、
00:05:21	の扱い、B-4 というのは、本来やはり歴史方がどうどの分類の範囲なのか、本来あるべき姿 5 分類の方で、耐震計算として機能設計をしていく処理で、
00:05:36	こういう設計をしにするんだということを説明するというものに対しては、VP のところをどう書くべきかというところも整理して、これ資料を 1 だけではなくて資料 2 とかの展開も含めて、
00:05:47	整理をさせていただくということかと思ってました。
00:05:51	資料 2 の方にいくと、
00:05:58	13 番はですね主な設備として書いているものの、リンケージの話で、資料 1 の番号とひもづけをするということで、
00:06:08	関連性がよりわかりやすくなるんじゃないかという話かと理解をしました。
00:06:13	はい。あとは、
00:06:16	15 番は、丸がついてなかった。先ほどの B4 と同じような考え方と、ここで扱わなきゃいけないものの整理というのをしっかりと整理させていただく必要があると。
00:06:28	ということだと思ってます。
00:06:30	はい。あと 16 番は、
00:06:33	が、
00:06:35	耐震側の整理の仕方、資料 2 資料 3 の整理の仕方を言うのとあとは、どういう形でその耐震側の共通上に押し上げていくかということの、
00:06:47	窓、説明ステップなりの考え方を、早めにまとめて、整理をすると。
00:06:53	いうことで進め方の中で計上させていただくことかなと思ってました。
00:06:58	資料 3 の、すいません。はい、規制庁々店。16 番は、耐震計算の基本方針じゃなくて、計算書作成の基本方針。
00:07:08	ていう名前だったと思いますけど、
00:07:11	結構あれですね、類型として議論した別紙としても結構後ろ側にある、基本方針のことなので、わかりました。よろしくお願ひします。
00:07:24	あれですね。

00:07:26	あれか。
00:07:28	分類した後の細かいメッシュごとに作ってたやつ、フォーマットとか載ってるやつか。
00:07:34	はい。そうですね。そうですねはいわかりました。ありがとうございます
00:07:40	資料3のところについては、まずは、臨界ところでシステム設計の範囲とかあつと施設的なものを、紐づく形。
00:07:54	が、もうちょっと何か工夫がかなというところがありましたと。
00:07:58	いうこと。あとは19番のところは理解の設計先ほどの説明の単位をどうするかってところもわかりますけど、
00:08:08	今のメッシュの区切り方でいくと、臨界設計の全体像っていうのが、
00:08:14	今ひとつ読めないまま、個別のやつが出てくるので、これで果たして本当にいいのってどこがわかりづらいことになってるんじゃないかなと、ことも含めて、説明の単位の説明、整理を進めさせていただこうと思います。
00:08:28	はい。それが29番20番は、
00:08:32	私がそれで整理ができるのかなという気はしてます。
00:08:36	はい。21%。はい。
00:08:41	なんだっけ。
00:08:44	21番。
00:08:46	はいこれ。
00:08:49	240。
00:08:52	わかった。すいません242番はあれですね閉じ込めん中の
00:08:57	落下によるパネルの損傷どころの話ですね。
00:09:01	ちょっと反対に文書書いたところこれ紐付け担当どの資料で展開するのかっていうのも含めて、紐付けを整理をさせていただくと。
00:09:10	いうことかと思いました。はい。あと22番は、増強という言葉の使い方が若干広すぎるところもあるので適切な言葉の使い方をするということ。
00:09:22	23番はベローズの設計のところ、今の現状でいくと、もともとの閉じ込めであるのか耐震であるのかも含めてただ必要な要件が香月駅内とで、
00:09:32	そこをしっかりと資料に書き込んでいくということかと思います。
00:09:37	24番は、先ほどは
00:09:43	24番あれか。

00:09:45	さっきと同じような話ですね、どこで要求するかってペローズ関係の話も含めて、
00:09:52	取り込みに関する機能維持の設計というのをどうやって具現化しているか、どちらかここは資料3の作り方とか、河川をどこでいくかというところが、
00:10:02	整理が必要だということかと理解をしています。
00:10:06	はい。なに古作です。下線をっていう話で言うと資料の2もですけど。そうですね。はい。それはあれですかね。結局23の話があって24を行っているのです。はい。
00:10:20	分けなくてもよかったところではありますけど、
00:10:24	資料の2の整理も含め、資料3で
00:10:28	両両方の関係条文も含めてちゃんと書くというところで整理いただければと思います。わかりました。ありがとうございます。
00:10:38	25番は、戸田グローブボックスなんかの内装機器ですねこれの扱い。今機械装置は、機械装置。
00:10:48	搬送装置か。
00:10:49	の分類で書いてるところでありますけどこれグローブボックスの設計の時にグローブボックス自体が間接支持構造物になるんだよねっていうご指摘も含めて全体の設計としての役割分担であったり、
00:11:01	機能として維持しなきゃいけないものっていうのを理解した上で、ちゃんと展開をするということの整理をさせていただきます。
00:11:09	はいすいません。
00:11:10	規制庁神です。
00:11:12	25番は、JBは今、5構造じゃないでなおさらっていう、という意味はあるんですけど、別に5じゃなくても、
00:11:21	ある機器、あるものにまた別のものがくっついていて、分割してこう耐震計算をしているという場合には
00:11:32	これにまた何が乗っかっているのかっていうものに対して、どういう設計並びに設計地震力になっているのかみたい話は、5であっても5でなくても、全般として、説明が必要なところですから、その点はちょっと認識
00:11:47	を下ください。
00:11:49	はい、乳井西田でございますありがとうございます。あれですね。
00:11:53	例えばですけどあれもいい乗っかってるものを、

00:11:57	下がある枠の中を計算すべき今、内側のものが例えばある重量体がそこにあるとして課税として見ているということも設計者としての中のもの自体をまた、
00:12:09	耐震計算をするとなると、その設計を考えて聞いて辺りに、外側のものがどうリンクしてるかっていうのを、ちゃんと設計として押さえとかなきゃいけないかということかと理解をしました。あと何かね。
00:12:23	はい。規制庁神です。そういう給料としてこっちでは見てるよって関係もある、あるし、冷却塔なんかもそうでしたけど、加工学校で計算をして
00:12:33	計算した結果をまた地震力としてインプット静的地震力として1ベッドをしますみたいな話も聞いてましたからそういった形だと、
00:12:44	思ってください。はい、ありがとうございます。
00:12:47	はい。最後に16番ですけどはい。一色委員からの変更点の示し方のものがまだできてない設計の段階でというMOXについては現状、
00:13:00	単品単品のいわゆる
00:13:03	設計を変えましたということになってますけども組み上がったたり設備からかすると再処理の場合はそういうわけにもいかない部分も多分あるので、
00:13:11	システムとして繋がってる部分の影響とかも含めて説明すべきところをちゃんと整理をして、記載内容をについては整理をさせていただくというのが26番、という認識でございます。
00:13:25	はい。
00:13:26	今日の振り返りの面も、以上でございます。
00:13:31	基線長山口です。それで振り返り内容も含めて全体を通して規制庁はバラ確認、何かございますでしょうか。
00:13:42	よろしければあげん側もよろしいでしょうか。
00:13:48	はい、特にございません。
00:13:51	清長山口です。それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を停止します